

災害時の保健医療支援における、 歯科支援の体制と連携

～全国統一された体制構築から、受援、そして地域防災へ～

2022年2月27日(日) 13:00～15:30(うち講演120分)

静岡県歯科医師会 オンライン(ZOOM)

(短縮版)

東京医科歯科大学 救急災害医学分野
東京医科歯科大学 災害・クリティカルケア看護学分野
東京都保健医療公社 大久保病院 歯科口腔外科
千葉大学 大学院 医学研究院 法医学
日本災害時公衆衛生歯科研究会
中久木 康一 nakakuki@biglobe.jp

Menu

1. 災害時の歯科

- － 変遷と役割
- － 緊急性と継続性

2. 体制整備・準備

- － 連携
- － JDAT

災害時の歯科の役割(1)

1985, 日本航空123便墜落事故

犠牲者 520名

1993, 北海道南西沖地震

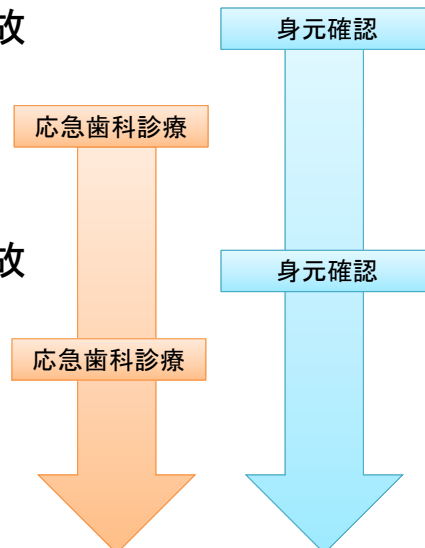
北海道医療大学により、奥尻島の津波犠牲者に対する即時義歯治療が提供された

1994, 中華航空140便墜落事故

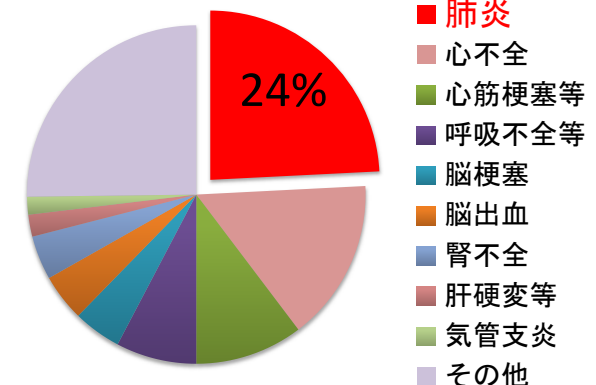
犠牲者 264名

1995, 阪神淡路大震災

歯科大学、歯科医師会、病院歯科が連携して2か月半に渡って応急歯科診療を提供した



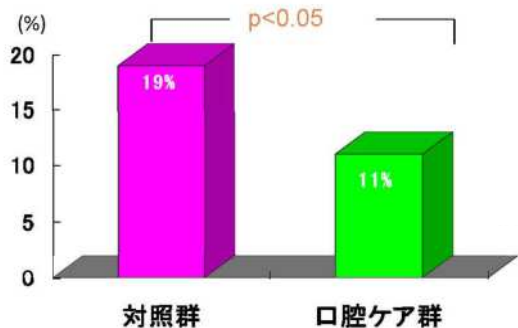
阪神・淡路大震災における 災害関連死



災害関連死: 921
全犠牲者数: 6402
神戸新聞, 2004.5.14

口腔ケアにより特別養護老人ホームにおける肺炎の発症率が低下した

2年間の肺炎発症率

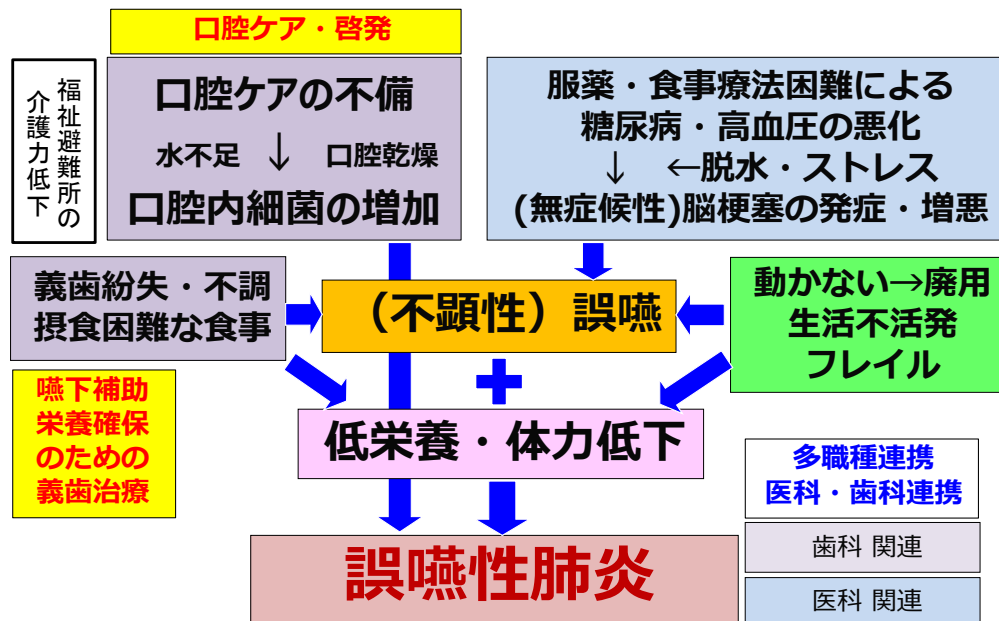


Lancet 1999

Yoneyama T, Yoshida Y, Matsui T, Sasaki H: Lancet 354(9177), 515, 1999.

特に高齢者や障害者などの要支援者に対して、口腔ケアが提供されるようになった

災害時肺炎の成因



足立了平, 災害歯科医学(医歯薬出版)第3刷 より改変追記

阪神・淡路大震災 新潟県中越地震

犠牲者	6,434	68
震災関連死	921 (14.3%)	52 (76.4%)
震災関連死における肺炎	223 (24.2%)	8 (15.3%)
仮設住宅孤独死者数	233	75歳以上: 6名
復興住宅孤独死者数	717	(平均年齢86.8歳)

災害時口腔ケアの実際

- 歯ブラシ、歯間ブラシによる清掃指導**
 口腔清掃が不十分だと、歯周病や口内炎などを発症したり、症状が悪化するため、少量の水でも出来るうがいや、歯みがきなどの指導を行います
- 児童に対する食事指導**
 支援物資には菓子パンやお菓子なども多いため、間食指導・歯みがき指導により食生活の平常化を目指します
- 高齢者に対する入れ歯の洗浄、補水指導**
 高齢者の避難所生活では、入れ歯の清掃不足、水分補給の不足による脱水、不十分な食事による体力低下などで、呼吸器疾患など様々な疾患にかかりやすくなるため、予防のための指導を行います
- 集団に対する啓発活動**
 個別の指導とともに、掲示物やパンフレットなどを通じて、被災者の方々が適切な生活習慣を取り戻せるよう、サポートを行います

歯周病の悪化、う歯の発生、口内炎、発熱(誤嚥性肺炎)などの予防

被災地域・避難所での 口腔ケア活動

避難所の巡回



仮設住宅の巡回 (1ヵ月後～)



※自宅の要援護被災者も含む

歯科保健医療 関係者

- 歯科医師会
- 歯科衛生士会
- 歯科技工士会
- 自治体歯科保健担当者
- 歯科大学
- 歯科衛生士 / 歯科技工士養成校
- 地域歯科関係者

福祉避難所の巡回



中長期的支援活動 (～数年間)



大規模災害発生時における歯科保健医療の役割(厚生労働科学研究費補助金「大規模災害時における歯科保健医療の健康危機管理体制の構築に関する研究」研究班)

災害時の歯科の役割(2)

2004, 新潟県中越地震

全犠牲者 68名のうち、災害関連死52名、うち肺炎8名 (15%)

口腔ケア

応急歯科診療

2007, 新潟県中越沖地震

犠牲者15名

口腔ケア

応急歯科診療

2011, 東日本大震災

全犠牲者2万名以上のうち
災害関連死3089名
直後の避難者47万人

口腔ケア

応急歯科診療

身元確認

災害時の歯科の役割

連携先

身元確認

- ご遺体の歯科的所見を採取する
- 生前歯科所見を収集する
- 照合して意見書を書く

警察
海上保安庁
監察医
など...

歯科医療

- 歯科医療提供体制を継続・なるべく早く復旧する
- 新たなニーズに対する応急歯科対応をする(救護所・避難所など)

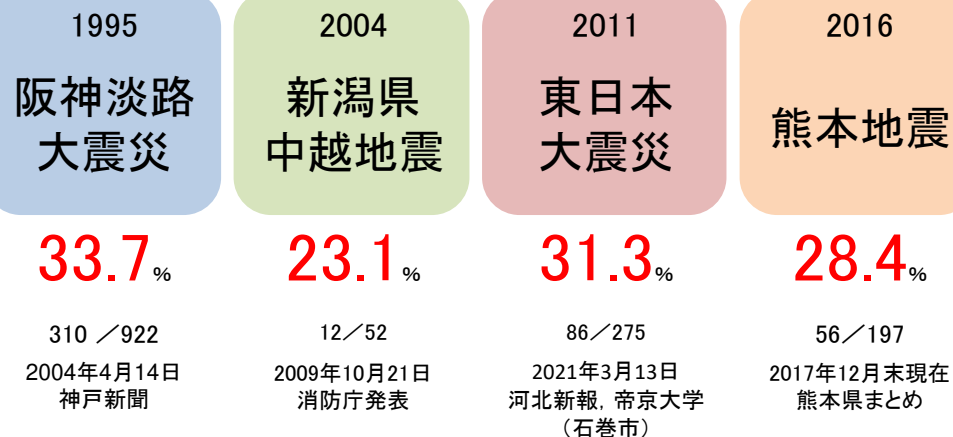
災害拠点Hp
DMAT/JMAT
日本赤十字社
災害医療Co
など...

歯科保健

- 地域の歯科保健管理を継続する
- 新たなニーズに対する歯科保健活動を行う(避難所・介護福祉施設・仮設住宅など)

自治体/保健所
保健センター
地域の事業所
地域包括支援センター、など...

呼吸器疾患＝災害関連死の30%



災害関連疾病の予防を目的とした災害時
要配慮者等に対する健康支援活動が重要

歯みがきと
ブクブクうがいで
肺炎を
予防しましょう！



公益社団法人 日本歯科衛生士会

うがいをしましょう

口の周りの筋肉は使ったよりも衰えている方が多いものです。「うがい」をすることで唇・頬・舌の力が鍛えられます。毎日することですから簡単ですよ。自分には早いと思っても、予防のために是非お試しください。



- しっかりと唇が閉じて水が口から漏れませんか？
- 水がのどに入ってムセませんか？
- ブクブクと大きな音が出ましたか？
- 30回うがいすると疲れませんか？

毎日続けて行うことで咀嚼力（噛む力）や
嚥下力（飲み込む力）を保つことができます。

災害・避難所生活でも むし歯も負けない!!

避難所生活が長期化すると子どもたちのむし歯もできやすくなります。子どもたちの口のお口の健康も守りましょう。

- 気をつける3つの約束**
 - 食事の決まった時間に！
 - 早寝・早起きを！
 - 歯磨き・うがいをする！
- 甘いやつ・お菓子**をだらだら食べをしない！
時間を決めて食べよう！
- 飲みがきや歯垢がからんだら、**歯磨き・うがい**やフッ素入り歯磨き粉を必ず使う！

緊急時の簡単!お口のケア方法!!

- 水が少ないうちは、または使えない場合の歯みがき方法**
 - コンタクトレンズや歯ブラシを洗った水で歯を磨く。
 - 歯磨き粉を少量の水で溶かして、歯を磨く。
 - 歯磨き粉がない場合は、歯を磨くだけでよい。
- 口呼吸をしない!**
 - 口呼吸は乾燥やウイルスの侵入を招くので、鼻呼吸を心がける。
 - 鼻呼吸が難しい場合は、マスクを着用する。
- 唾液をたくさん出す方法**
 - 唾液は自然の殺菌力があり、虫歯予防に効果的。
 - 水分をしっかりと摂る。
 - 唾液腺を刺激する（例えば、お茶を飲む）。

十分な歯みがき、うがいができなくなると口の中の細菌が増殖します。避難所生活の中で、できる限りのケアを行い、健康な生活を送ってください。

1日あたり10分程度、毎日継続して行えば、効果的です。

一般社団法人 日本小児歯科学会 <http://www.jpjpd.or.jp/>

お口のケアで、健康づくりを。

災害 時は、過度のストレスや緊張から唾液が減り、水の不足等によって生活が乱れ、口腔ケアがおろそかになりがちです。

口腔 内を清潔に保てないと、誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症を引き起こしやすくなります。

毎日 の生活から、ていねいな口腔ケア（歯磨き、うがい）や入れ歯の清掃を心がけることが、災害時への備えになります。

口腔ケアは、歯周病の悪化や 口内炎、発熱（肺炎）の予防 になります。

神奈川歯科大学大学院 横須賀・湘南地域災害医療歯科学センター
文庫私大歯学部附属歯形成学実習室S1203004 (平成24年～平成25年)

災害後の体調不良

呼吸器感染症、
胃腸炎等の
急性疾患
(発災～1ヶ月)

しばらくたってから
だんだん増えてくる

直後に多い！
だんだん減ってくる

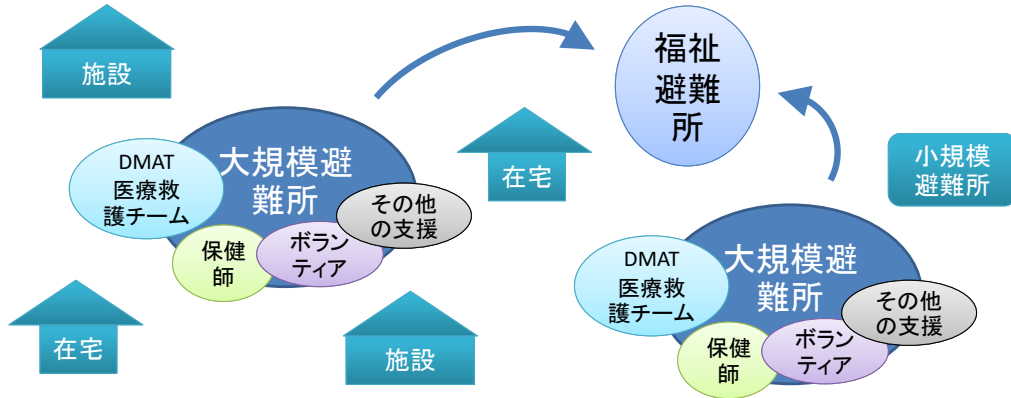
高血圧、腰痛、
皮膚炎、不眠症等の
慢性疾患
(発災後1ヶ月～)

歯科支援で最も緊急なもの？

- 遺体の身元確認も大切。でも**生きている人が生き延びることはもっと大切**。
- 義歯がなくて食べられない人に義歯をつくるのも大切。でも義歯がなくても安全に栄養摂取できるものを供給し、**二次被害を起こさないようにするケア(誤嚥性肺炎予防の口腔ケア)**はもっと大切。

フェーズ0から保健が必要な人は？

- ・ ライフラインが断たれ、介入が断たれた、在宅・在施設の要配慮者



災害時要配慮者(要援護者)

平成25年6月 災害対策基本法改正

災害時要配慮者

防災施策において特に配慮を要する方(要配慮者)

高齢者・有病者
身体・知的・精神障害者
乳幼児・妊産婦
外国人
旅行者
等

避難行動要支援者

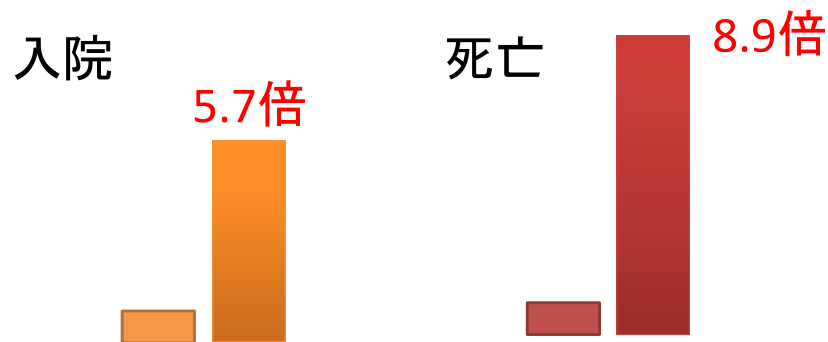
災害発生時の避難等に
特に支援を要する方
避難行動要支援者名簿の
作成を義務付け

個別避難計画の作成努力義務

令和3年5月 災害対策基本法改正

肺炎の発生率は、3カ月間有意に増加

最大の増加を示したのは震災後2週間



- ・ 90%は65歳以上の高齢者
- ・ 避難所・介護施設からの入院患者数が多かった
- ・ 死亡率は、介護施設からの入院は45%！

Daito H, et al., Impact of the Tohoku earthquake and tsunami on pneumonia hospitalisations and mortality among adults in northern Miyagi, Japan: a multicentre observational study. Thorax. 2013 Jun;68(6):544-50. doi: 10.1136

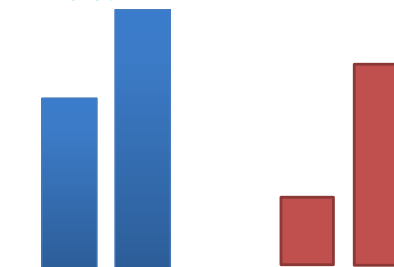
地震は肺炎による死亡のリスクを増加させる 津波はそのリスクをさらに増加させる

Shibata Y, Ojima T, Tomata Y, et al. Characteristics of pneumonia deaths after an earthquake and tsunami: an ecological study of 5.7 million participants in 131 municipalities, Japan. BMJ Open. 2016 Feb 23;6(2):e009190

- ・ 岩手・宮城・福島県の全131自治体における2010-2012の住民調査を使用
- ・ 岩手・宮城・福島県における肺炎による死亡数は地震後3県において増加

前後1年の肺炎死数

内陸93自治体 沿岸38自治体
100未満が120へ 50未満が90へ



- ・ 1年後の肺炎による死亡数は、1年前のものに比べて1.14倍

標準化死亡比

- ・ 第1週目から第12週目にかけて、有意に増加。2週目から4週目は、沿岸部自治体において2倍に近く高かった。
- ・ 2週目における標準化死亡比は沿岸部自治体2.49 (95% CI 2.02 to 7.64)、内陸部自治体1.48 (95% CI 1.24 to 2.61),であった。沿岸部自治体の標準化死亡比は内陸部よりも高かった。

災害時の口腔ケア

時期	対象	場所	問題点	内容	対応者
超急性期 ～急性期	有病者	病院	易感染性	徹底した 個別口腔ケア の提供	看護師, 歯科衛生士, 歯科医師, など
超急性期 ～中長期	要配慮者	福祉避難所/ 高齢者・障害者 施設	介護力ダウン, ライフライン ダウン	個別口腔ケ ア・指導, 口腔ケア用品 の提供	歯科衛生士, 歯科医師, 言語聴覚士, 介護福祉士, など
		在宅	孤立(情報 不足, 交通 手段不足)		
急性期 ～慢性期	一般	避難所	環境の不備 (洗面所, う がい水, な ど)	口腔ケアの啓 発, 口腔ケア用品 の提供	歯科衛生士, 歯科医師, 保健師, など
慢性期 ～中長期	一般 要配慮者	応急仮設住宅 災害公営住宅	孤立(情報 不足, 交通 手段不足)	口腔ケアの啓 発, 口腔機能 の維持・向上	歯科衛生士, 保健師, など

「歯科医院の防災対策ガイドブック」医歯薬出版 より改変

時間的経過と歯科保健医療支援活動

フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3 以降
超急性期	急性期	亜急性期 以降

口腔顎顔面外傷への対応

応急処置, 後方支援病院への搬送

応急歯科診療

定点診療: 歯科医療救護所→仮設歯科診療所

巡回診療: 避難所巡回診療

災害関連疾病の予防

病院・高齢者介護施設・福祉避難所巡回口腔ケア

避難所巡回口腔ケア

在宅巡回口腔ケア

口腔衛生指導/口腔衛生啓発活動

地域歯科保健活動

訪問口腔ケア活動

口腔機能向上

介護保険施設

応急仮設住宅

災害公営住宅 ・ 居宅

警察歯科医会活動

歯科的身元確認 個人識別資料の採取と照合

中久木康一:災害時の口腔保健(安井利一ほか編:口腔保健・予防歯科学). 医歯薬出版, 東京, 2017, 282.

災害対策≠支援 <防災・減災

災害発生!

これでは、災害関連疾病
の発生が防げない!

災害対策本部設置

被災・避難状況の把握

災害対策本部会議開催・方針決定

災害支援チーム調整

災害支援チーム派遣

時間

かかりすぎ! 被災地・避難所への支援

Menu

1. 災害時の歯科

- 変遷と役割
- 緊急性と継続性

2. 体制整備・準備

- 連携
- JDAT

Menu

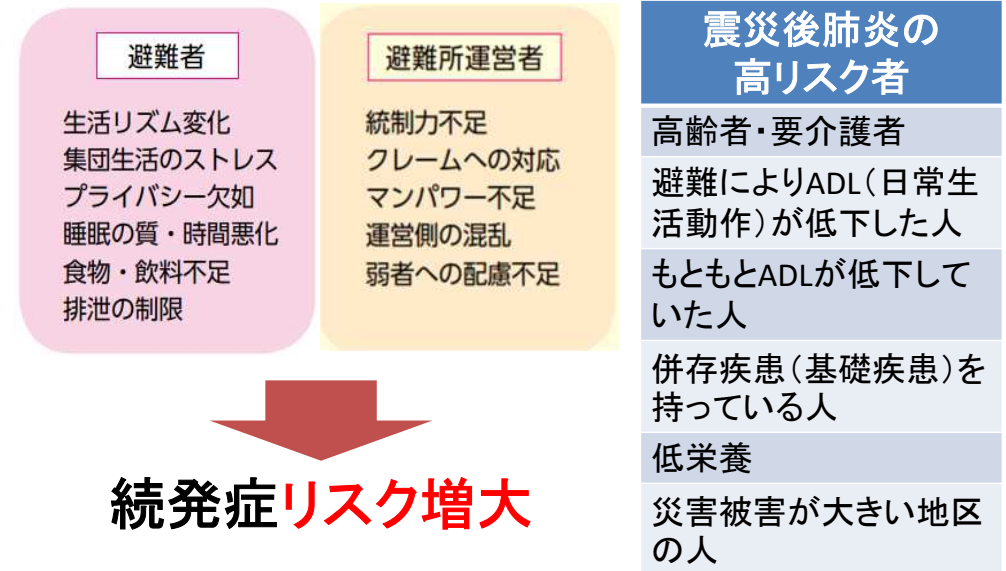
1. 災害時の歯科

- 変遷と役割
- 緊急性と継続性

2. 体制整備・準備

- 連携
- JDAT
- 地域におけるとりくみ

許容量を超えた避難所で予想される事態

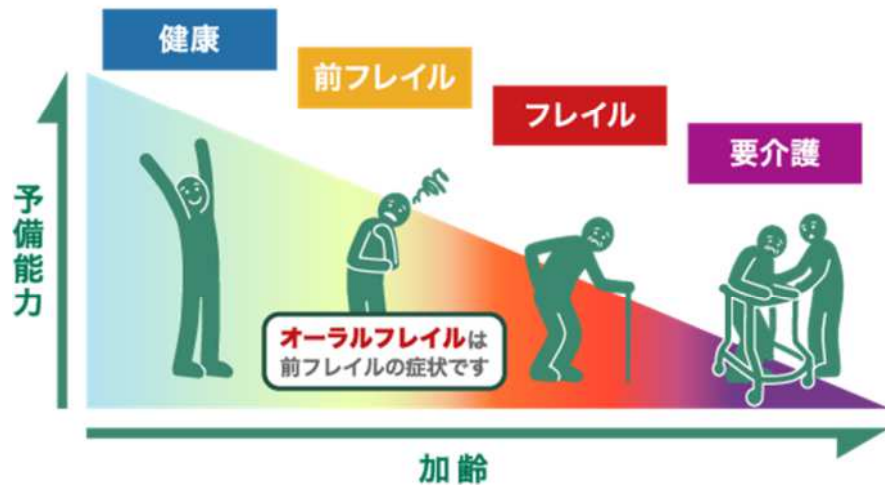


前田圭介, フレイル高齢者には早期に多面的食支援を
 地域保健 2017年11月号 P34-37

<http://jp.sunstar.com/oral-frail/>

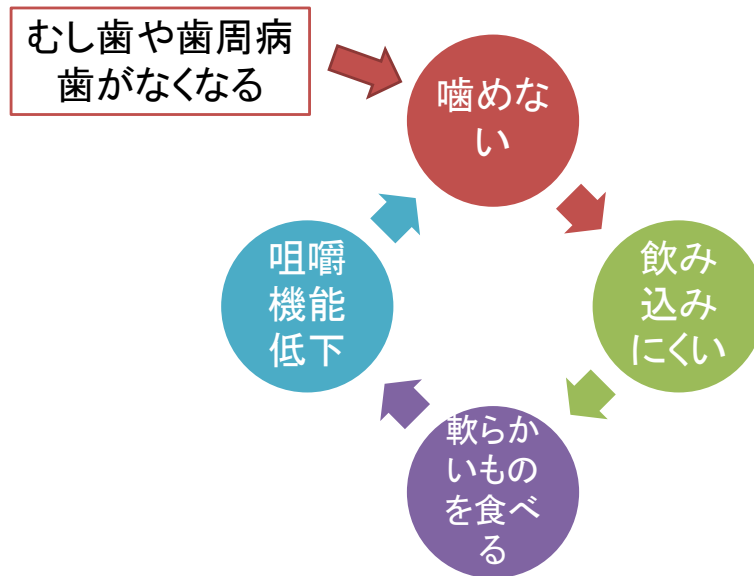
老化のサインとして注目される“オーラルフレイル”

フレイル段階図

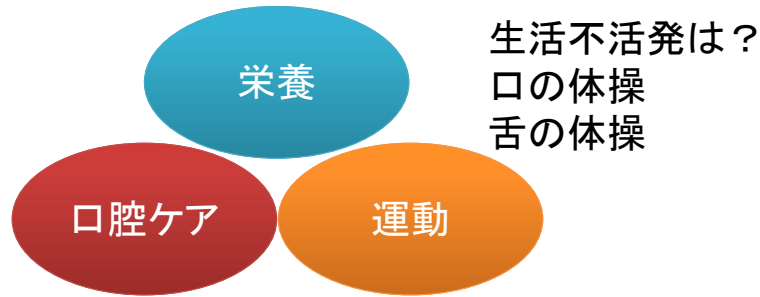


出典：東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島勝矢

口腔機能の低下



栄養不全→サルコペニア
 栄養低下→筋力低下



おうちのケア + おうちの体操
 = 災害時の口腔ケア

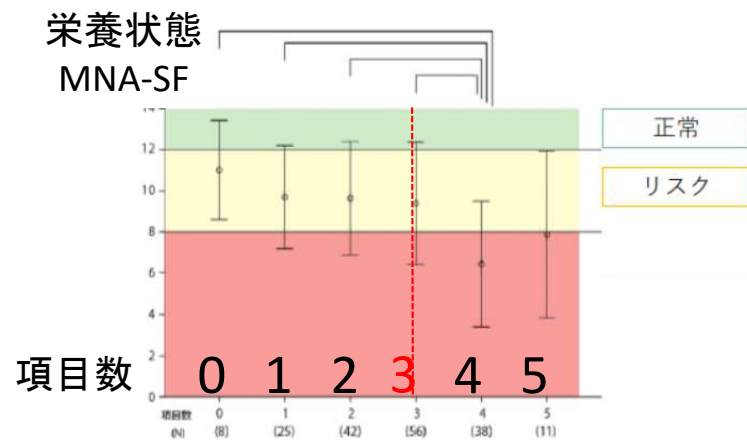
口腔機能低下症

(平成30年度診療報酬改定)

口腔機能精密検査 7項目 → 4以上

- (1) 口腔衛生状態不良
 - (2) 口腔乾燥
 - (3) 咬合力低下
 - (4) 舌口唇運動機能低下
 - (5) 低舌圧
 - (6) 咀嚼機能低下
 - (7) 嚥下機能低下
- 環境
 個別機能
 総合的機能

3項目を超えると？ → 低栄養に！



口腔機能低下症の検査に含まれる、口腔不潔、口腔乾燥、残存歯数、舌圧、舌口唇機能低下の5項目の該当数と栄養状態 (MNA-SF) との関係进行分析したところ、低下の該当数が3項目を超えると平均MNA値が低栄養状態に達することが明らかとなった。(松尾 浩一郎ら, 老年歯学, 2016)

口腔機能低下症の割合

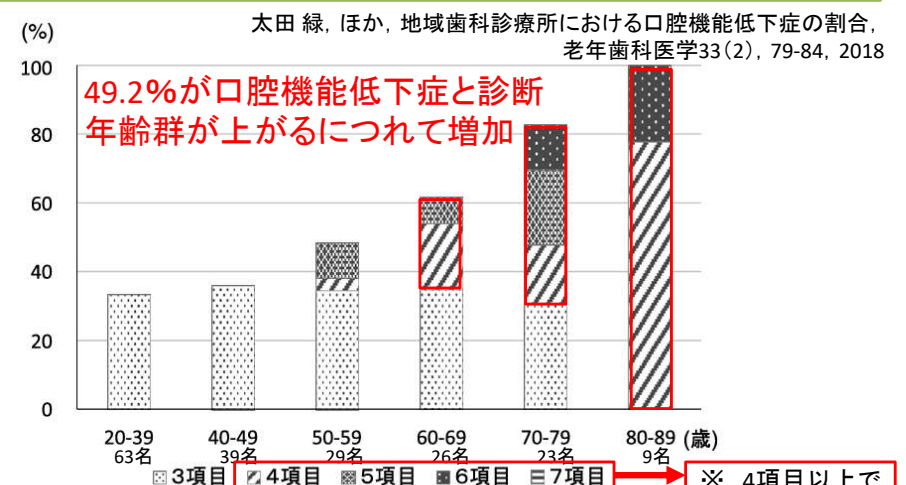
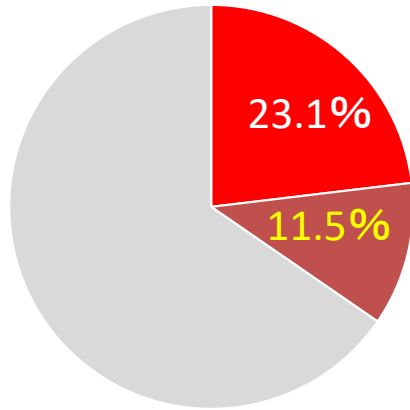


図2 年代別の口腔機能低下症の割合

対象: 東京都の地域歯科診療所外来で、口腔機能検査を実施した成人189名 (男性83名, 女性106名, 平均年齢51±16歳)

地域在住の要介護高齢者のうち、災害時に「食べる」工夫が必要な方々

新宿区の要介護高齢者
n=1271

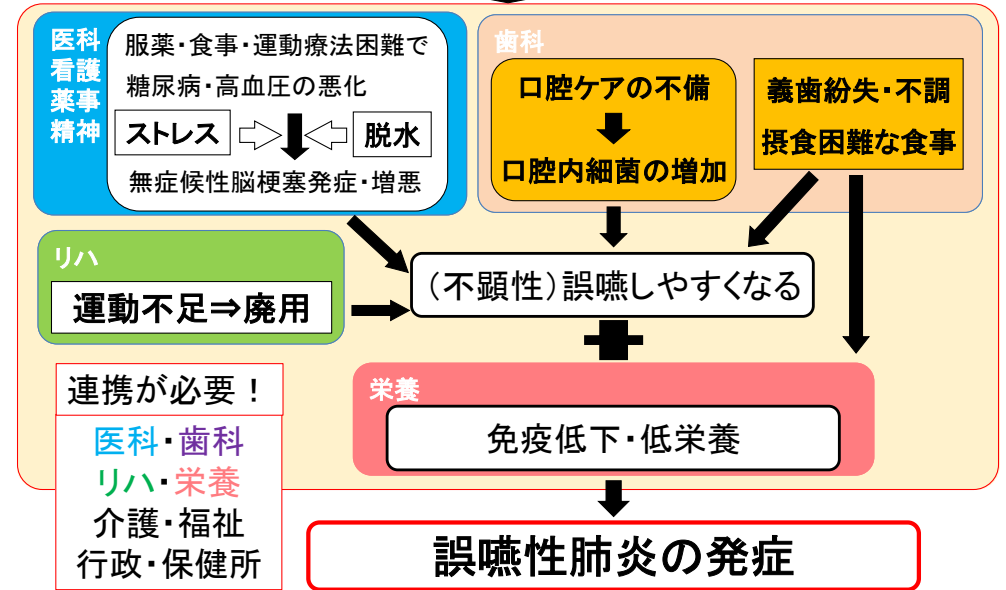


要経管栄養
要特殊食形態

通常摂取可も
非常食摂取困難

Estimating nutrition intake status of community-dwelling elderly people requiring care in disaster settings: A preliminary cross-sectional survey.
Tashiro S, Kawakami M, Oka A, Liu F, Nishimura A, Ogawa C, Hagai F, Yamamoto S, Yazawa M, Liu M. J Rehabil Med. 2019 Mar 6.

災害時の環境： ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



足立平, 岸本裕充, 門井謙典. 大規模災害における気道感染予防の重要性. 日本口腔感染症学会雑誌. 2012; vol. 19-1 より改変
中久木康一. 令和元年度九州地区連合歯科医師会研究事業・災害口腔医学研修会資料より

被災者の皆さまへ 避難所生活で健康に過ごすために ～以下の点にご注意ください～

水分・塩分
補給

① 水分・塩分補給
をこまめに

トイレを数回して水を飲む習慣が大切です。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。

② 手を清潔に

食事の前やトイレの後には手洗いを。流水が足りないときは、アルコールを含んだ手指消毒剤を使用しましょう。

手の清潔

食中毒
注意

③ 食中毒に注意！

出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。

④ 体の運動

エコミークラス錠錠群の予防、寝たきりの予防のために積極的に体を動かしましょう。

体の運動

うがい
歯みがき

⑤ うがい・歯磨き

うがい、歯磨きをできるだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。

⑥ 十分な睡眠・休息

誰もが不安を感じています。休息や睡眠を意識してとりましょう。

十分な睡眠・休息

マスク着用

⑦ 必要なときは、マスクを着用

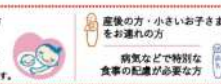
咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこりを避けるために、必要なときはマスクを使いましょう。

⑧ 薬で困っている場合は相談を

薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

薬剤
(体調管理)

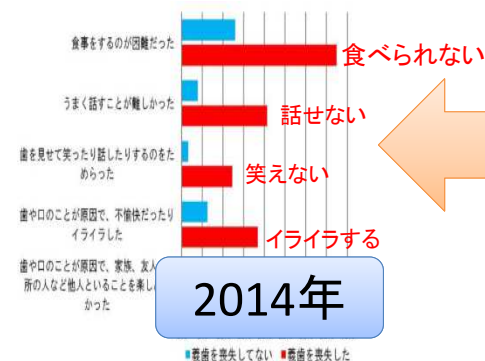
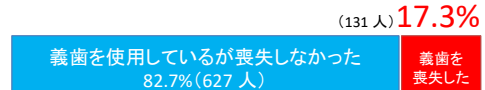
次の方は避難所の事務所に申し出ましょう



妊産婦・乳幼児
特殊食品

災害時の義歯喪失の食事や会話への影響

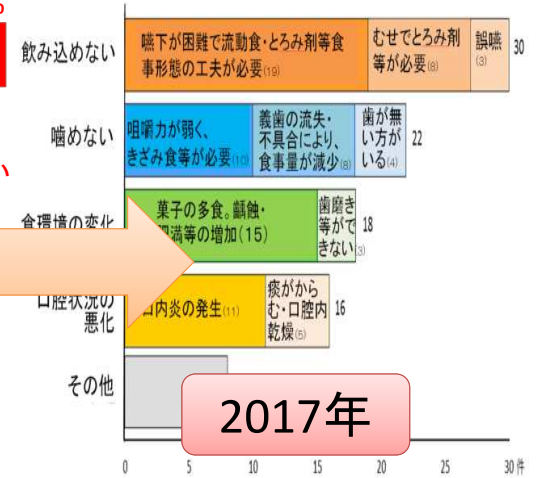
東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において
震災前から義歯を利用していた人758人



Yukihiro Sato et al., Impact of Loss of Removable Dentures on Oral Health after the Great East Japan Earthquake: A Retrospective Cohort Study. Journal of Prosthodontics, 2014 Sep 14. doi: 10.1111/jopr.12210.

派遣栄養士が報告した「口腔保健」問題の質的解析

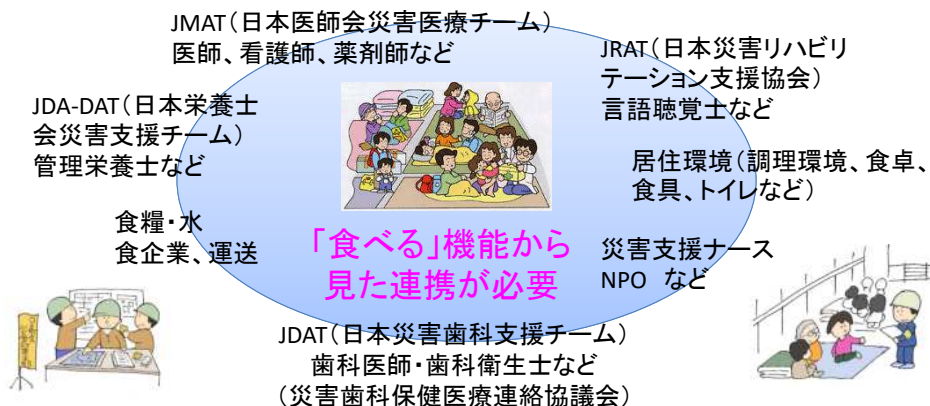
JDA-DATエビデンスチームによる東日本大震災 活動報告書
分析 (発災1か月～6か月後、n=599)



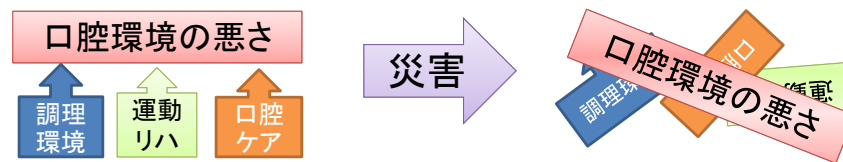
笠岡(坪山) 5, 日経食糧下リハ会誌21(3):191-199, 2017.

誤嚥性肺炎の予防に対する 災害時のTransdisciplinary approach

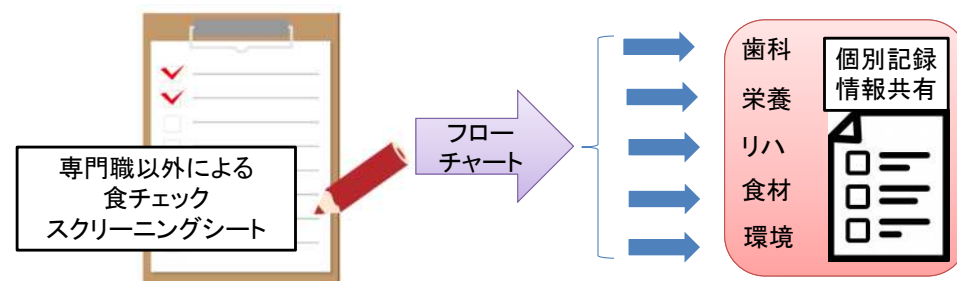
- 特にフレイル、障害者、高齢者に対する災害直後からの栄養支援が重要
- それぞれの支援が揃って、はじめて、安全に適切に栄養が確保できる



災害直後にオーラルフレイルに陥る場合

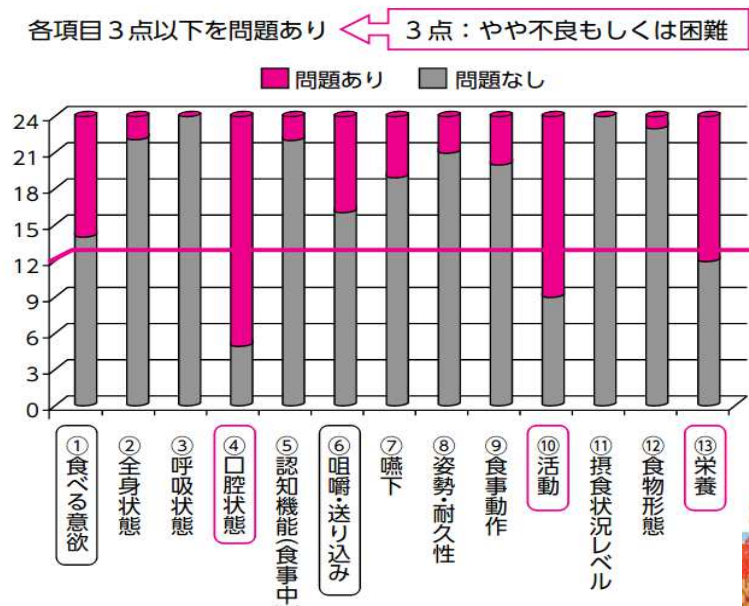


災害直後にオーラルフレイルに陥った人への効率的アプローチ



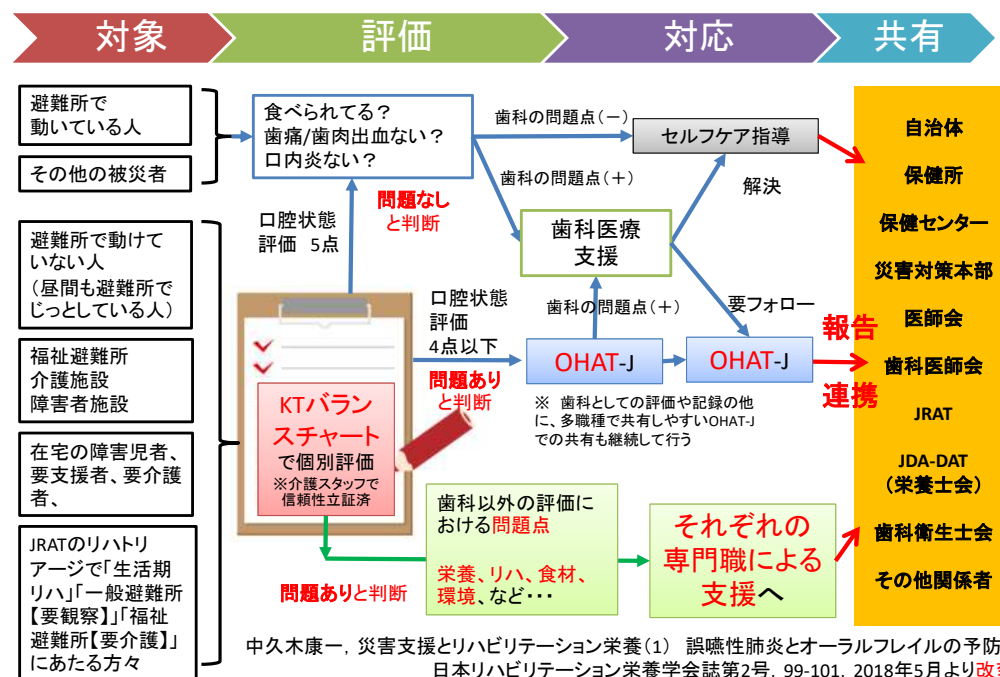
中久木康一, 地域保健 2017年11月号 P33

図2: 平成28年熊本地震後早期(2日~14日)におけるKTバランスチャートを用いた評価(n=24)



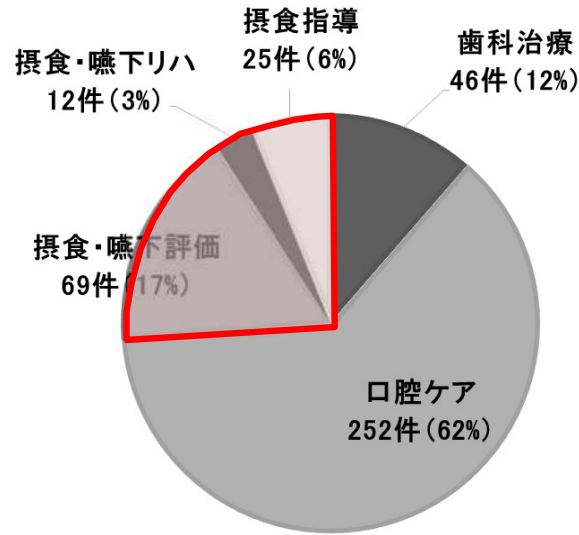
小山珠美(NPO法人口から食べる幸せを守る会), 震災による避難所での二次的合併を回避するKTバランスチャートを使用した包括的支援の実際, <特集>多職種で取り組む災害時の食支援, 地域保健 2017年11月号, 第48巻6号, 東京法規出版

災害時要配慮者支援における個人アセスメント方針(歯科・提案)



中久木康一, 災害支援とリハビリテーション栄養(1) 誤嚥性肺炎とオーラルフレイルの予防, 日本リハビリテーション栄養学会誌第2号, 99-101, 2018年5月より改変

図3 南阿蘇地区における歯科支援活動実績



熊本地震後の南阿蘇地区において口腔機能支援を通じて多職種と連携した「食べる」支援活動の報告, 日本災害食学会誌, Vol6(2), 66-76, 2019

OHAT (オーハット)

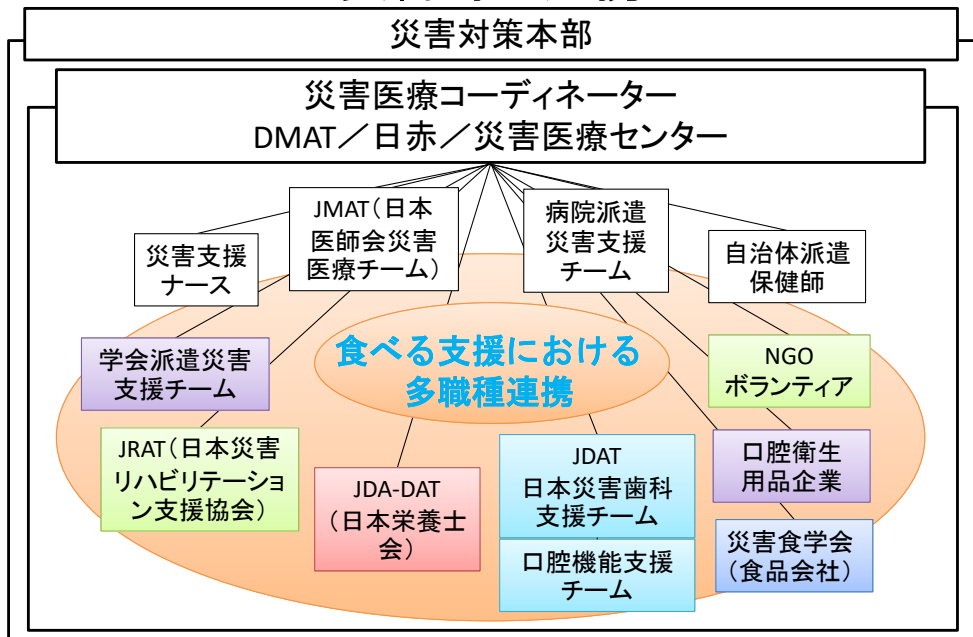
藤田保健衛生大学医学部歯科教室HPよりダウンロード可
http://dentistryfujita-hu.jp/research/project.html

ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL 日本語版(OHAT-J)

(Chalmers JM et al, 2005 を日本語訳)

ID:	氏名:	評価日: / /		
項目	0=健全	1=やや不良	2=病的	スコア
口唇	正常、湿潤、ピンク	乾燥、ひび割れ、口角の発赤	腫脹や潰瘍、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍	
舌	正常、湿潤、ピンク	不整、亀裂、発赤、舌苔付着	赤色斑、白色斑、潰瘍、腫脹	
歯肉・粘膜	正常、湿潤、ピンク	乾燥、光沢、粗造、発赤、部分的な(1-6歯分)腫脹、歯肉下の一部潰瘍	腫脹、出血(7歯分以上)部分的な(1-6歯分)腫脹、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛	
唾液	湿潤、粘性	乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口渇感若干あり	赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口渇感あり	
残存歯 口有 口無	歯・歯根のう蝕または破折なし	3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗	4本以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用無しで3本以下の残存歯	
義歯 口有 口無	正常、義歯、人工歯の破折なし、普通に装着できる状態	一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能	二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯紛失、義歯不適のため未装着、義歯接着剤が必要	
口腔清掃	口腔清掃状態良好、食渣、歯石、プラークなし	1-2部位に食渣、歯石、プラークあり、若干口臭あり	多くの部位に食渣、歯石、プラークあり、強い口臭あり	
歯痛	疼痛を示す言動的、身体的な兆候なし	疼痛を示す言動的な兆候あり、顔を引きつらせる、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる	疼痛を示す身体的な兆候あり、顔、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下腫瘍、言動的な兆候もあり	
歯科受診 (要 不要)				再評価予定日 / /
日本語訳: 藤田保健衛生大学医学部歯科 松尾浩一郎, with permission by The Iowa Geriatric Education Center				available for download: http://dentistryfujita-hu.jp/ revised Jan 15, 2016

災害時の連携



「口腔保健・予防歯科学」医歯薬出版 より改変

大雨特別警報

津波 地震 台風 警報・注意報

発生(20:50) INFO 総合テレビの台風関連ニュー

台風情報

10月12日 21時08分更新

マップで見る

現在 予想進路 5日先予報

警報・注意報

10月12日 21時06分更新

マップで見る

特別警報 警報 注意報

電気 沖縄 小笠原

●●● 特別警報 ●●● 注意報

●●● 警報 ●●● 発表なし

※予想進路と5日先予報は同じ場合があります

台風19号

位置: 北緯35°10' 東経139°05'

気圧: 960 hPa

被災者を脅かす“口の衰え”



フレイル
心身の衰え

避難生活が長引く被災地では、高齢の人も多く、健康状態が心配されています。被災地で問題視されているのが、心身の衰えを意味する「フレイル」です。フレイルとは、介護が必要となる状態と、健康の間。つまり、さまざまな機能が衰えてきた状態で、放っておくと病気や寝たきりにつながってしまいます。



フレイルを改善させるには



「フレイル状態」にある船山さんを回復させるため、河瀬さんが最も重視したのが、**栄養士や作業療法士など、ほかの多くの職種との連携**です。まず、栄養士と一緒に、食べられる食事のかたさを確かめます。また、口を動かす体操を教え、「噛んでのみ込む力」を回復させます。さらに、全身の筋力をつけるため、作業療法士がリハビリを指導しました。

1か月後、船山さんは、毎日2時間の散歩ができるようになるほど回復していました。

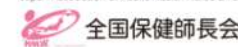
その理由は、弁当を普通に食べられるほど、物を噛む力と飲み込む力を取り戻したことにありました。

食事がとれることで栄養状態も改善。全身の筋力も戻りつつあります。

食べて、動いて、参加する！



足立了平, 「繋ぐ」(クインテッセンス出版)P45



2019年度 災害時の保健活動推進マニュアル (地域保健総合推進事業)

災害マニュアル

■2019年 災害時の保健活動推進マニュアル (地域保健総合推進事業)



全国保健師長会では、地域のみならず震源災害等全国に頻発する自然災害の新たな課題への対応や確保法令・通知の改正により、平成29年度から地域保健総合推進事業として、災害時の保健活動の準備状況、被災市町村と保健所との連携状況等についてのインタビュー調査及びアンケート調査を実施し、その課題を反映させ、このたび、「大規模災害における保健師マニュアル」を大幅に改訂し、「災害時の保健活動推進マニュアル」と改題、保健師以外の保健衛生職員も活用できるよう作成しました。

また、「避難所日報」については、避難所状況シート、避難者状況シートを全国共通様式として最新版を推薦しました。なお、様式類については、各自体で活用できるようエクセル・ワードシートとして提供いたします。(新たに「健康課題毎のチェック項目」を様式4・健康課題毎のチェック項目集として、エクセルシートにしました。各自自治体の避難所等におけるアセスメントやマニュアル作成にご活用ください。)

災害時の保健活動推進マニュアル (10.7MB)

【様式】

1. 医療情報記入様式:
災害診療記録 (344KB) * 現在、「災害診療記録2018」が発表されています。
(<https://www.j-speed.org/08> / <http://www.jhim.jp/disaster/index.html>)
2. 保健情報・保健活動情報記入様式:
避難所日報 (56KB) / 記載書頭 (52KB) / 健康相談票 (前) (108KB) / 経路別紙 (32KB) / 派遣員自身体活動記録票 (32KB) / 仮設住宅入居票・世帯調査票・健康相談票 (前) (63KB)
3. 応援・支援時活用様式:
被災地の基本情報・被災地の状況報告 (40KB) / 保健活動活動チーム管内配置計画表 (29KB) / 応援派遣保健師のみなさまへ (30KB) / 災害に役立つ情報 (被災地支援ホームページ) (36KB)
4. 健康課題毎のチェック項目集:
健康課題毎のチェック項目集 (78KB)

活動方針・体系図・年間計画
ブロック活動
支援活動
代議自総会
理事会・拡大常任委員会・常任理事会報告
学会・委員会活動
要望活動
災害関係
全国保健師長会だより
講演会
日本保健師連盟協議会
公衆衛生看護学会
40周年記念事業

発行
2020年3月

歯科／集団・迅速

災害時避難所等 口腔保健アセスメント票

項目	
基本情報	
対象者	避難者数 高リスク者数
(1) 歯科医療	歯科保健医療の確保状況
(2) 環境	水・洗口場の確保状況
(3) 用具	歯ブラシ・歯磨剤の確保状況
(4) 行動	口腔衛生行動介助の有無
(5) 症状	痛みや不自由さの有無
その他	

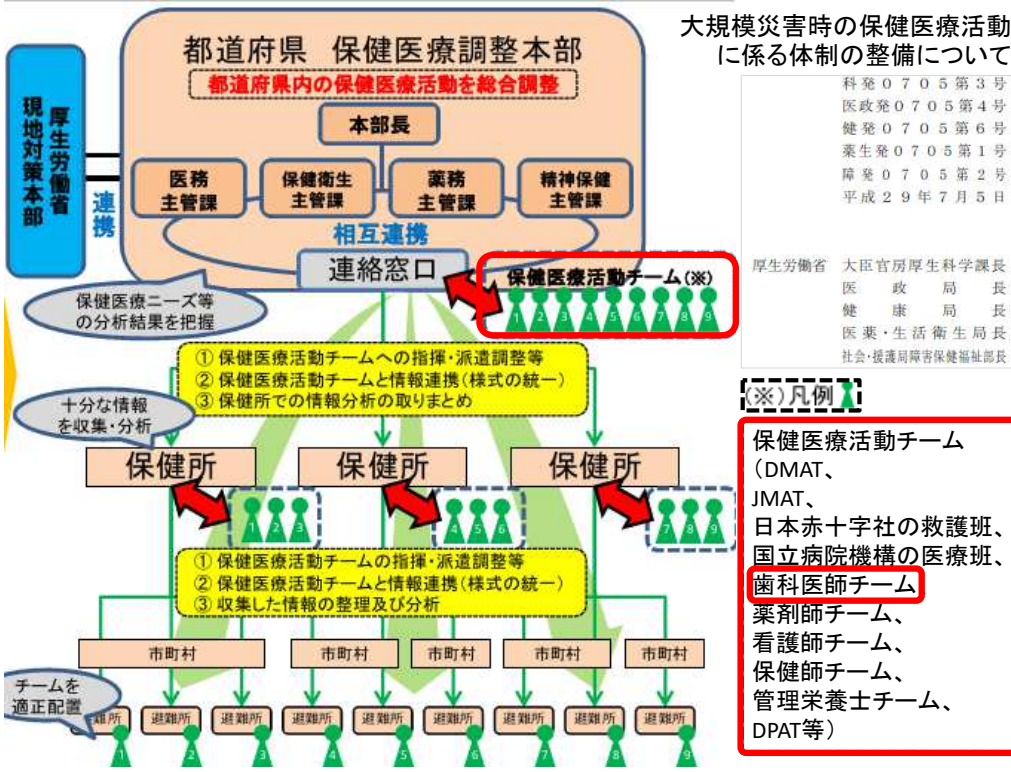
項目	評価基準(参考)	評価	特記事項(参考)
(1) 歯科保健医療の確保	受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等(日程・時間など)の有無、巡回歯科チームの編成、稼働状況(日程・時間など)の有無	◎ 3日以内 △ 週1回 × 不明 - 不明	歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない
(2) 口腔清掃等の環境	飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である	◎ 不自由ない、おむねあるが制限はある、△ 特定の用途にのみ、または短時間使える状況である、× ない/使えない	飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である
(3) 口腔清掃用具等の確保	歯ブラシ(成人用)、歯みがき、コップ、義歯ケース、洗剤等の確保	◎ 90%以上が確保 ○ 70~90% △ 40~70% × 40%以下 - 不明	歯ブラシ(成人用・小児用・乳幼児用)、歯みがき、コップ、うがい用コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなどの問題点・必要物資など
(4) 口腔清掃や介助等の状況全体状況	歯や義歯の清掃、乳幼児・障害者・要介護者の介助	◎ 90%以上が確保 ○ 70~90%が確保 △ 40~70% × 40%以下 - 不明	歯磨きや歯の清掃に問題があればその理由、乳幼児や障害者・要介護者に対する口腔ケア介助の問題点・必要性など
(5) 歯や口の訴え・義歯の問題・食事等の問題	痛みや不自由さ、歯の痛み、義歯の問題、食事不自由	◎ 痛みあり、義歯問題、食事不自由 ○ 痛みがある者(約 人)、歯の痛み、義歯問題(約 人) △ 痛みがある者(約 人)、歯の痛み、義歯問題(約 人) × 痛みがある者(約 人)、歯の痛み、義歯問題(約 人) - 不明	痛みや口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる

【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】 p.57参照

チェック項目
<input type="checkbox"/> 口腔衛生や口腔機能の低下に配慮が必要な対象者がいる (配慮が必要な者：乳幼児・妊婦・後期高齢者・障害児者・要介護者・糖尿病等の有病者)
<input type="checkbox"/> 飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き剤、コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど資機材が不足している
<input type="checkbox"/> 口腔清掃状況が不十分である
<input type="checkbox"/> 歯痛や口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる
<input type="checkbox"/> 歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない

項目	確認項目(※確認できれば数値や具体的内容を記載)	評価	評価基準(参考)
(1) 歯科保健医療の確保	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1あり、2なし、9不明	◎ ○ △ × -	◎ 歯科医療の受療機会： ○ ほぼいつでも可能、△ 週に1回以下、困難、× 不可能、- 不明
特記事項	歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない		
(2) 口腔清掃等の環境	a 歯磨き用の水 1充足、2不足、9不明 * (具体的に)) b 歯磨き等の場所 1充足、2不足、9不明	◎ ○ △ × -	◎ うがいand/or洗面所： ○ 不自由ない、○ おおむねあるが制限はある、△ 特定の用途にのみ、または短時間使える状況である、× ない/使えない
特記事項	飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である		
(3) 口腔清掃用具等の確保	a-1 歯ブラシ(成人用) 1充足、2不足(約 人分)、9不明 a-2 歯ブラシ(乳幼児用) 1充足、2不足(約 人分)、3不要、9不明 b 歯磨き剤 1充足、2不足(約 人分)、9不明 c うがい用コップ 1充足、2不足(約 人分)、9不明	◎ ○ △ × -	◎ 歯ブラシ(成人・乳幼児)、歯みがき、コップ、義歯ケース、洗剤等： ○ 90%以上が確保、○ 70~90%、△ 40~70%、× 40%以下、- 不明(避難者数に対する割合)
特記事項	歯ブラシ・歯磨き剤、コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど資機材が不足している		
(4) 口腔清掃や介助等の状況全体状況	a 歯磨き 1して、2ほほして、9不明 b 義歯清掃 1して、2ほほして、9不明 c 乳幼児の介助 1して、2ほほして、9不明 d 障がい児者・要介護者 1して、2ほほして、9不明	◎ ○ △ × -	◎ 歯や義歯の清掃、乳幼児・障害者・要介護者の介助： ○ 90%以上が確保、○ 70~90%、△ 40~70%、× 40%以下、- 不明(避難者数に対する割合)
特記事項	口腔清掃状況が不十分である		
(5) 歯や口の訴え・義歯の問題・食事等の問題	a 痛みがある者 1いる(約 人)、2いない、9不明 b 義歯紛失や義歯破折 1いる(約 人)、2いない、9不明	◎ ○ △ × -	◎ 痛みあり、義歯問題、食事不自由： ○ 90%以上が問題なし、○ 70~90%、△ 40~70%、× 40%以下、- 不明(避難者数に対する割合)
特記事項	歯痛や口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる		

項目	評価基準(参考)	評価	※確認できれば数値や具体的内容を記載
(1) 歯科保健医療の確保	受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等(日程・時間など)の有無、巡回歯科チームの編成、稼働状況(日程・時間など)の有無	◎ ○ △ × -	歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない
(2) 口腔清掃等の環境	飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である	◎ ○ △ × -	飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である
(3) 口腔清掃用具等の確保	歯ブラシ(成人用・小児用・乳幼児用)、歯みがき、コップ、うがい用コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなどの問題点・必要物資など	◎ ○ △ × -	歯ブラシ(成人用・小児用・乳幼児用)、歯みがき、コップ、うがい用コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなどの問題点・必要物資など
(4) 口腔清掃や介助等の状況全体状況	歯磨きや歯の清掃に問題があればその理由、乳幼児や障害者・要介護者に対する口腔ケア介助の問題点・必要性など	◎ ○ △ × -	歯磨きや歯の清掃に問題があればその理由、乳幼児や障害者・要介護者に対する口腔ケア介助の問題点・必要性など
(5) 歯や口の訴え・義歯の問題・食事等の問題	痛みや口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる	◎ ○ △ × -	痛みや口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる



大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について

科発0705第3号
医政発0705第4号
健発0705第6号
薬生発0705第1号
障発0705第2号
平成29年7月5日

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
医政局 局長
健康局長
医薬・生活衛生局長
社会・援護局 障害保健福祉部長

II 各期における保健活動の概要(風水害・噴火災害編)【表6】

地域/ニーズ	避難勧告等発令時 準備体制の確立 (避難情報発令) 避難準備・高齢者等避難開始、 避難勧告、避難指示(緊急)	フェーズ0 初期体制の確立 (概ね災害発生後24時間以内)	フェーズ1 緊急対策 一生命・安全の確保 (概ね災害発生後72時間以内)
		災害モードへの切り替え	
地域の状況	要援護者の避難・停電・雨音による情報伝達困難	人的被害・孤立者の救助・浸水・電気や交通等インフラの不具合	被害の全容把握・生活用品の不足
医療	① 傷病者の急増 ② 救命救急 ③ 搬送	① 医療機能の低下 (治療・病床数・従事者・医薬品)	① DMATの交代・他の医療チームの派遣 ② 救護所の設置・運営 ③ 医療機能の低下
保健	① 避難所の設置・運営 ② 低体温症	① 生活環境の悪化	① 感染症の流行 ② 熱中症 ③ 歯科・口腔衛生 ④ 保健医療活動チームの受援 ⑤ マンタルヘルス
福祉	① 避難行動要支援者の避難 ② 従事者の帰宅困難	① 孤立者の安全確保	① 福祉避難所の設置 ② サービスの低下
保健医療活動チーム等の例		・DMAT(医療への被害程度によっては派遣無) ・日本赤十字社	・DMAT ・DPAT ・JMAT ・その他の医療チーム

フェーズ2 応急対策 一生活の安定一 (避難所対策が中心の時期)

フェーズ2 応急対策 一生活の安定一 (避難所対策が中心の時期)	フェーズ3 応急対策 一生活の安定一 (避難所から概ね仮設住宅入居までの期間)	フェーズ4 応急対策 一生活の安定一 (仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期)	フェーズ5-1 復興支援前 一生活の安定一 (仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期)	フェーズ5-2 復興支援後 一生活の安定一 (仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期)
避難所の利用者・退出者の増加、ニーズの顕在化	避難者の移動・帰宅困難な避難者	復興・仮設住宅対策の実施		
① 地域医療への移行 ② 巡回診療	① 医療機能の回復	① マンタルヘルス ② 孤立	① ソーシャルキャピタルの醸成	
① 食生活・栄養の確保 ② 生活不能疾病 ③ 慢性疾患の治療継続	① 保健医療活動チームの配置・調整・会議開催	① 保健医療活動チームの活動終了		
① 福祉避難所の運営	① サービス調整			
・保健師等チーム ・JDA-DAT	・このころのチーム ・JMAT ・JDAT	・保健師等チーム ・このころのケアチーム		

災害時の保健活動推進マニュアル(P.21-22)

Japan Dental Alliance Team (JDAT、日本災害歯科支援チーム)

【目的・趣旨】

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

5) 歯科保健・医療対策

以下、歯科保健・医療対策について、まず、高リスクとなる要件を【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】として示し、次に【保健衛生部局・保健所本部における対策の立案】、その次に個人々人への具体的な【保健指導】として記載する。【チェック項目】に多くチェックが付く場合は、優先的に対策を進めるべきである。

【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】

	チェック項目
歯科保健・医療対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 口腔衛生や口腔機能の低下に配慮が必要な対象者がいる (配慮が必要な者：乳幼児・妊婦・後期高齢者・障害児者・要介護者・糖尿病等の有病者) □ 飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である □ 歯ブラシ・歯磨き剤、コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど資機材が不足している □ 口腔清掃状況が不十分である □ 歯痛や口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる □ 歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない

【保健衛生部局・保健所本部における対策の立案】

- ・避難所・福祉避難所、高齢者障がい者施設等の環境整備(水、洗口環境等)を行い、口腔ケアに必要な医薬品・衛生物品、資機材を調達する。
- ・避難所・福祉避難所、高齢者障がい者施設、保育園、幼稚園、学校等に対する口腔衛生教育を行い、口腔ケア行動のための普及啓発を行う。
- ・応急歯科診療、歯科診療医療班(巡回歯科診療含む)の活動との連携を図る。
- ・口腔機能維持、誤嚥性肺炎のリスクアセスメント、栄養士や言語療法士等と協働した摂食・嚥下機能サポートを行う。

【保健指導】

- ・避難所等では、水の使用制限や食生活の変化、劣悪な生活環境等により、体力低下等でインフルエンザ、風邪等の呼吸器疾患や誤嚥性肺炎、むし歯、歯周病の発生、悪化等様々な疾患にかかり易くなるため予防及び口腔機能向上を含めた口腔ケア支援を行う。
- ・時間の経過とともに変化する被災者の状況に伴って起こりうる歯科保健医療福祉等のニーズを予測し、被災者の目線に立って支援する(表11、図20参照)。



全国保健師長会
災害時の保健活動
推進マニュアル
(令和2年3月)
P57

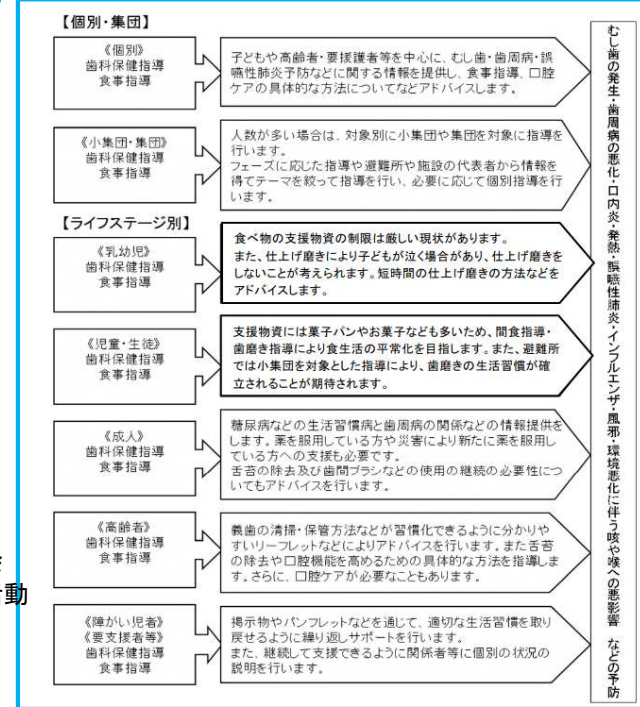
表11 歯科保健におけるフェーズ分類と歯科の問題点

フェーズ	時期 (目安)	歯科の問題点	住民の声
0	発災～ 24時間	・口腔衛生用品不足	・逃げるのに精一杯で義歯を持ち出せなかった ・義歯ケースがなくなった
1	24～ 72時間以 内	・歯科救護 ・義歯紛失 ・外傷等による歯牙損傷	・逃げる時に転んで顎を打って痛くて食べられない ・歯を磨きたくても水がない ・歯を磨くことを忘れていた 等
2	4日目 ～1か月	・口腔衛生状態悪化 ・義歯清掃管理不良 ・口腔機能低下 ・食事形態による食べ方支援が必要 ・感染予防 ・口腔ケア啓発	・支援物資に子ども用の歯ブラシが見つからない ・歯が痛いのが診てくれる歯医者がない ・歯を磨いていないので歯肉が腫れてきた ・口内炎が痛い ・水が冷たくて歯を磨きたくない ・予約していた主治医と連絡が取れない ・お菓子を好きだけ食べるが、避難所で注意にくい ・喉がよく渴いて痛い、ほこりが多くて咳がよくでる ・洗面所が遠いので行けない ・義歯を外した姿を他人に見られたくないので、入れたまま歯磨きをしている ・災害後一度も義歯を外していない 等
3	1か月 ～6か月	・口腔ケア ・口腔機能向上支援の継続	・震災前は歯ブラシ・歯間ブラシで手入れをしていたが、災害後はする意欲がなくなった ・応急仮設住宅がかりつけの歯科医院から遠いので通院できなくなった ・子どものむし歯は気になるが歯科診療所が遠い ・お弁当の冷たい揚げ物などが固くて食べられない等
	6か月～	・継続した歯科健康相談・健康教育等	・地元の歯科診療所の診療が開始されたが、医療費のことが心配でなかなか受診できない ・応急仮設住宅からの交通機関が不便で、かかりつけだった歯科医院の受診は難しい ・予防は大切と思うが、今後の事が心配で歯を磨く意欲がなくなった 等



全国保健師長会
災害時の保健活動
推進マニュアル
(令和2年3月)
P58

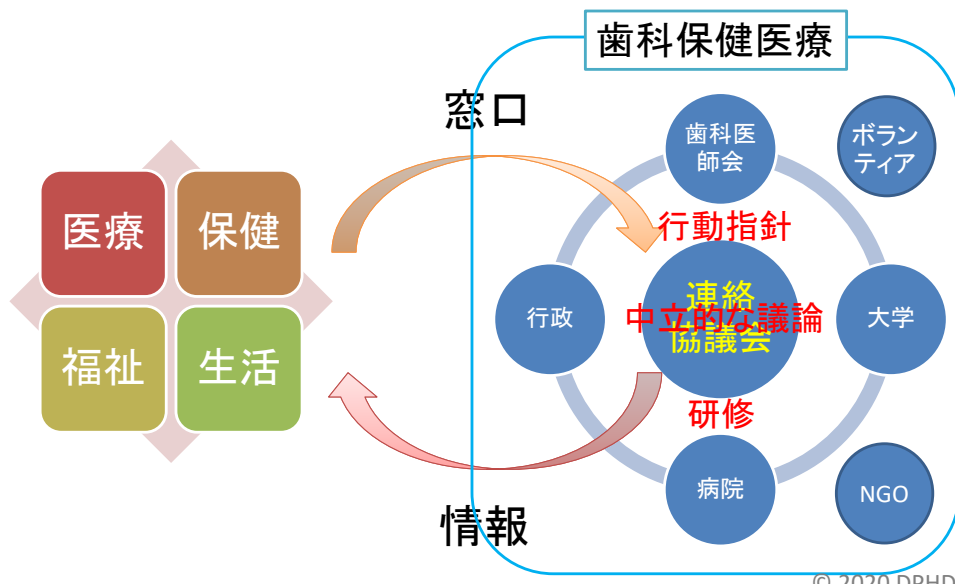
図20 歯科保健活動のポイント



全国保健師長会
災害時の保健活動
推進マニュアル
(令和2年3月)
P59

災害歯科保健医療連絡協議会

2015年4月～



災害歯科保健医療連絡協議会 ※平成27年4月設置

<目的>

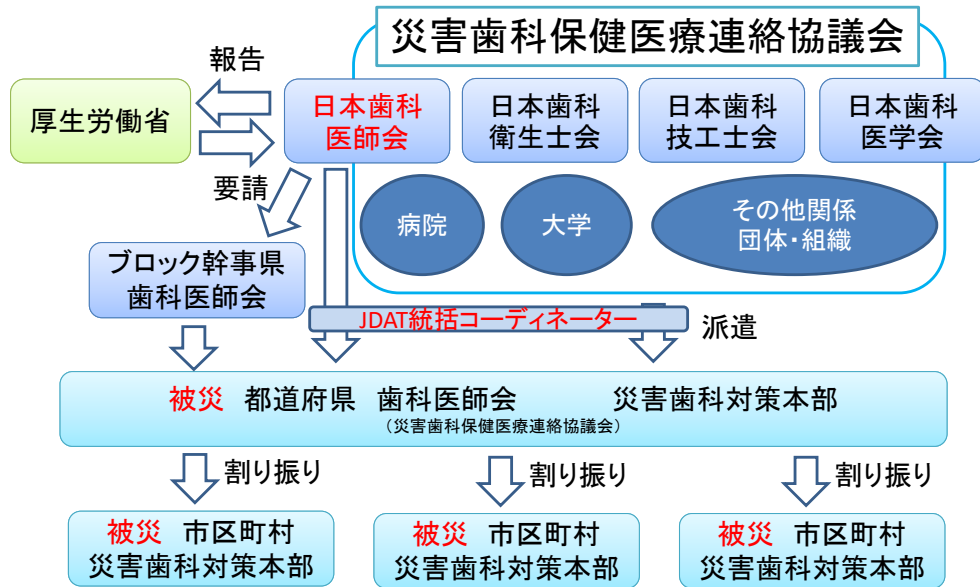
大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、(急性期から慢性期に)に至るまで、様々な歯科関係職種 **継続的な支援**が必要である。そのため、日本歯科医師会主導の下、**歯科関係団体同士の連携**や災害対応に関する**認識の共通化**を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の**情報集約や共有**を促し、有事に際して**国や都道府県との連携調整**を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を**迅速に効率よく**行うべく、協議していく。

<参画団体>

- ① 日本歯科医師会
- ② 日本歯科医学会
- ③ 日本私立歯科大学協会
- ④ 国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤ 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥ 日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦ 日本歯科衛生士会
- ⑧ 日本歯科技工士会
- ⑨ 全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩ 日本歯科商工協会

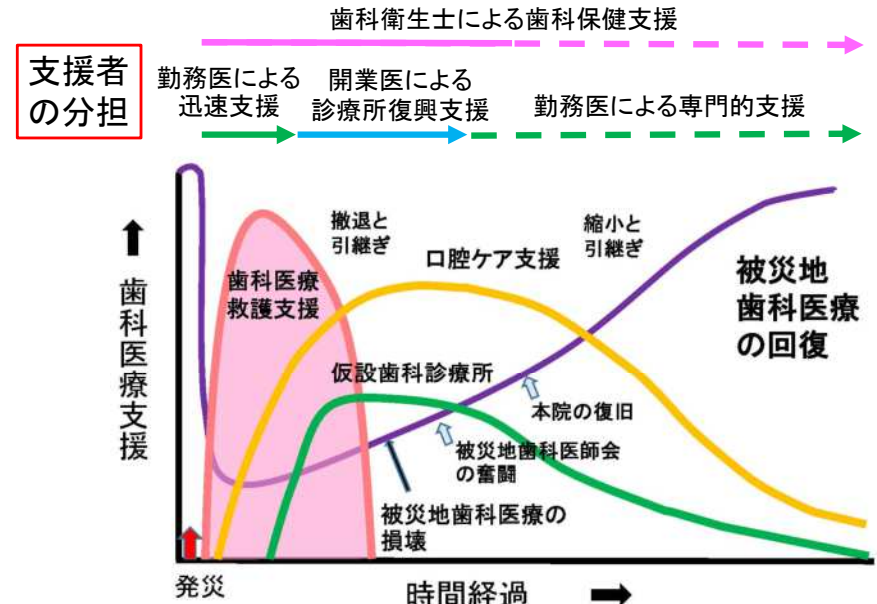
※オブザーバー：内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

発災時の人的派遣の流れ



JDAT (Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム) 活動要領(案), 2021年11月(予定)

支援内容の時間経過と、支援者における分担



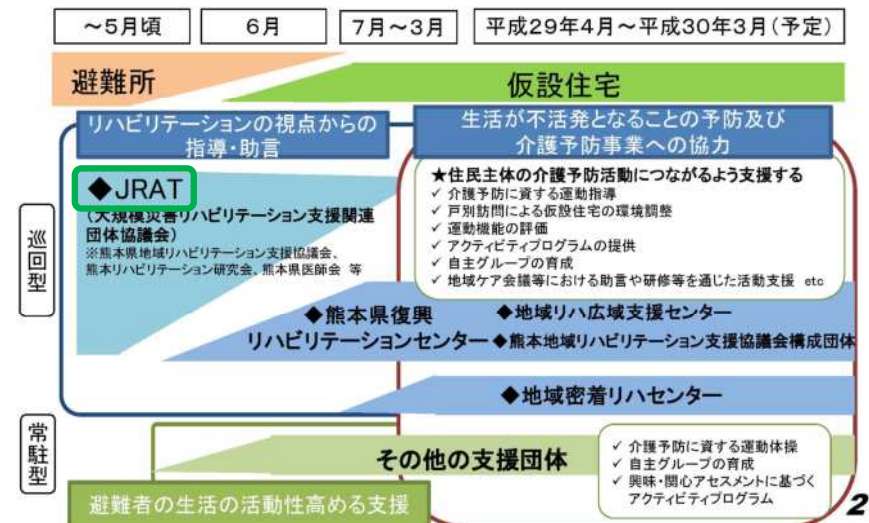
大黒英貴, 災害歯科医学, P58, 医歯薬出版, 2018 より改変

歯科における連携

行政歯科職	マネジメント
歯科医師会	診療所の復旧を優先したうえで、地域へのマネジメント
大学歯学部 (& 病院歯科)	迅速対応と歯科医療救護
派遣歯科専門職 & 歯科衛生士会	避難所等地域における歯科保健医療支援活動の実働
歯科衛生士会 & 大学歯学部	中長期的対応

復興リハビリテーション

熊本地震発生に伴う復興リハビリテーション活動体制



DWAT（災害派遣福祉チーム）

平成30年5月31日

「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」の概要

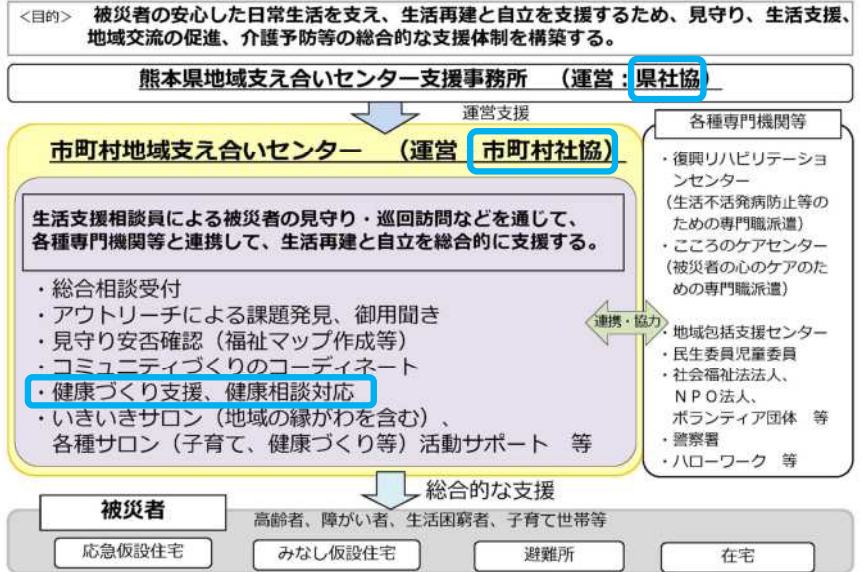
- 近年の災害においては、高齢者や障害者、子ども等の地域の災害時要配慮者が、避難所等において、長期間の避難生活を余儀なくされ、必要な支援が行われない結果、生活機能の低下や要介護度の重篤化などの二次被害が生じている場合もあり、これら災害時要配慮者の避難生活中における福祉ニーズへの対応が喫緊の課題となっている。
- このような状況を踏まえ、災害時において、災害時要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、避難生活中における生活機能の低下等の防止を図るため、各都道府県において、一般避難所で災害時要配慮者に対する福祉支援を行う「災害派遣福祉チーム」を組成するとともに、一般避難所へこれを派遣すること等により、必要な支援体制を確保することを目的として、官民協働による「災害福祉支援ネットワーク」の構築に向けた取組を推進するためのガイドラインを策定する。



※ 上記は、あくまで標準的な在り方であり、都道府県の実情を踏まえつつ、ネットワークで検討の上、必要な変更を加えていくことが期待される。

地域支え合いセンター

「地域支え合いセンター」のイメージ



JDAT 平常時・災害時

平常時

- 研修と、体制整備
- 地域の災害対策や防災訓練に積極的に参画

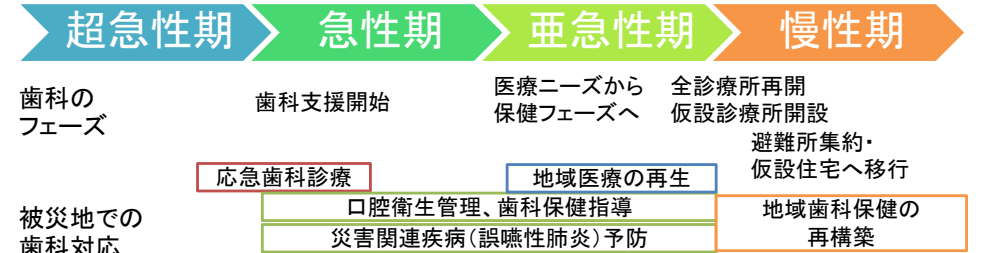
被災時

- 地域の情報を繋ぐ
- 必要時は支援チームの派遣要請を提言
- 現地支援活動コーディネーターとして受援

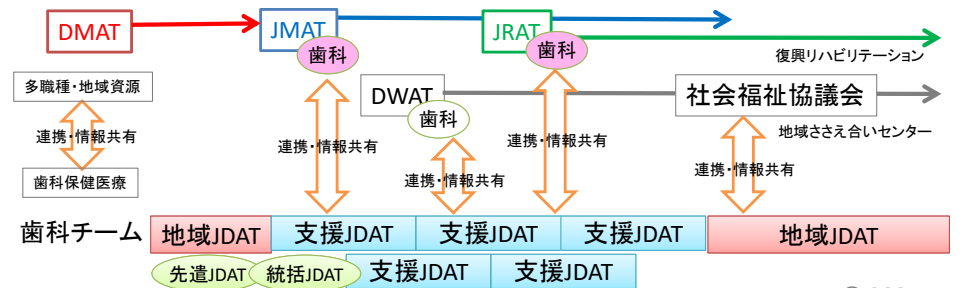
災害時

- 緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援
- JMATなどの医療チームの歯科との連携

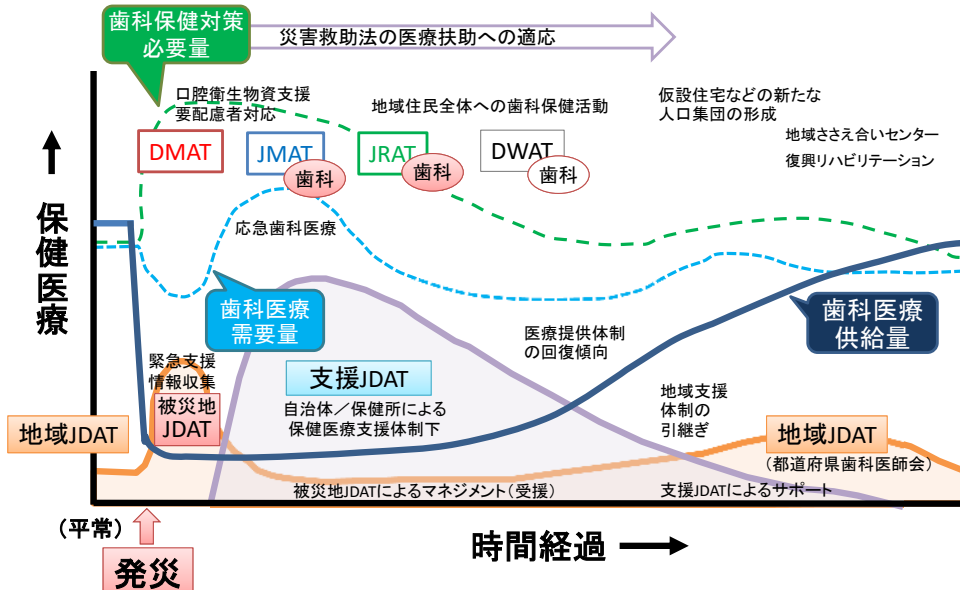
多職種チームと 歯科チームとの連携



多職種チームにおける歯科 ※ 概念図であり、タイミングはこの限りではありません

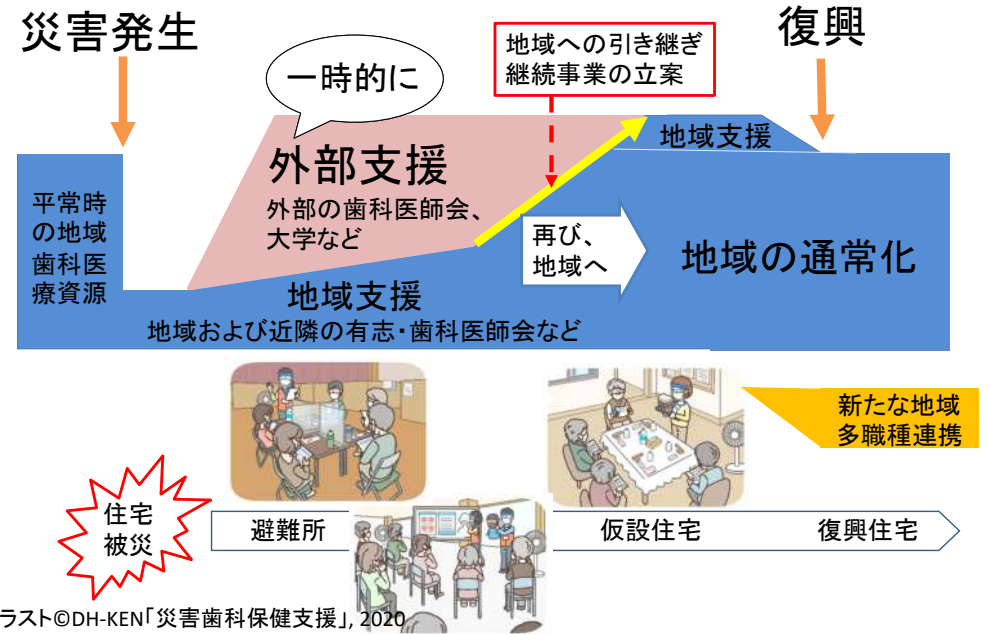


災害時の地域におけるJDATの連携(地域×支援)



日本医師会「JMAT:日本医師会災害医療チームとは(大規模災害時のイメージ)」を参考に作図

災害時歯科支援の引き継ぎへの流れ



歯科医療活動		歯科保健活動
今、困っている人	対象	今は、なんともない人
あり	本人のニーズ	なし
歯が痛い人 歯ぐきが腫れた人 通院中だった人 義歯破損・不適合の人	対象	特に重要なのは要配慮者 高齢者(摂食・嚥下障害など) 有病者(糖尿病など)/障がい者 乳幼児・小児/妊婦
痛みをとる 適切に食事ができるようにする	目的	口腔感染症予防、むし歯予防、歯周病予防、誤嚥性肺炎予防
応急歯科診療 歯科受診への調整	やること	口腔ケア、口腔ケア啓発 お口の体操、健康教育
災害拠点病院 DMAT / JMAT 日赤 etc.	連携	自治体 保健所 保健センター etc.

地域保健医療体制の回復

歯科医院・病院歯科の再開

自治体の歯科保健サービスの再開

災害歯科保健体制研修会

- 厚生労働省補助金の災害医療チーム等養成支援事業として、日本歯科医師会が主導した災害歯科保健医療連絡協議会による研修会
- 1日目は座学やシンポジウムとPFA
- 2日目は午前・午後ともグループワーク、午前「市町村レベルでの支援」、午後は「都道府県レベルでの受援におけるマネジメント」
- 2018年度は2回、2019年度からは3回、2020年度からはオンライン

災害歯科保健医療体制研修会 2019年度

(2018年度～, 厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業)

1日目	
スケジュール	研修科目
10:30～10:35 ※5分	開会・挨拶
10:35～10:45 ※10分	研修の目的(オリエンテーション)
10:45～11:25 ※40分	災害歯科医療概論
11:25～11:55 ※30分	歯科災害派遣チームの実現に向けて
11:55～12:25 ※30分	災害時における歯科医師会の対応
12:25～13:30 ※65分	<休憩>
13:30～14:30 ※60分	【ディスカッション】国における災害対応 厚生労働省健康局健康課地域保健室長/厚生労働省医政局地域医療計画課災害時医師等派遣調整専門官/内閣府政策統括官(防災担当)付/防衛相統合幕僚監部首席後方補給官付/警察庁刑事局捜査第一課検視指導室/海上保安庁警備支援部刑事課刑事企画指導官 ※事前研修のおさらいを含め、災害対応に関するディスカッション
14:30～14:40 ※10分	<休憩>
14:40～16:10 ※90分	【講義・ロールプレイ】 心理社会的サポート
16:10～16:20 ※10分	<休憩>
16:20～16:50 ※30分	JMAT等との連携
16:50～17:20 ※30分	災害時における身元確認体制との連携
17:20	1日目閉会

2日目	
スケジュール	研修科目
9:30～12:40 ※180分 (途中休憩10分)	【講義・演習】 被災市町村におけるコーディネート
12:40～13:30 ※50分	<休憩>
13:30～16:40 ※180分 (途中休憩10分)	【講義・演習】 都道府県におけるコーディネート
16:40～16:55 ※15分	総評、質疑
16:55	閉会・修了証交付

主催: 日本歯科医師会
(災害歯科保健医療連絡協議会 事務局)

災害歯科保健医療アドバンス研修会

(2020年度, 厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業)

スケジュール		研修科目
9:30- 9:35	※5分	開会・挨拶
9:35- 9:50	※15分	研修の目的とゴール
9:50-10:30	※40分	経験した災害支援の中で、助けてもらった事務的業務の整理
10:30-11:00	※30分	行政における災害時体制と歯科医療者のロジスティクスの実際
11:00-12:00	※60分	災害医療ロジスティクス概論
12:00-13:00	※60分	<休憩>
13:00-13:15	※15分	現場で必要だった多職種連携のためのノンテクニカルスキル
13:15-13:35	※20分	クリティカルシンキング概論
13:35-13:55	※20分	ファシリテーション概論
13:55-14:50	※55分	【計画立案】クリティカルシンキングを活用して課題を整理し活動方針を立てよう!
14:50-15:10	※20分	<休憩>
15:10-15:40	※30分	リスクマネジメントとリスクコミュニケーション概論
15:40-15:50	※10分	災害歯科研修における連携づくりの事例
15:50-16:40	※50分	【ディスカッション】それぞれの地区・組織における、多職種との連携における課題
16:40-16:55	※15分	質疑
16:55-17:00	※5分	事務連絡・閉会

アンケート「災害体制の現状と地域における連携体制の構築に向けて」, 47都道府県歯科医師会, 2021年10-11月

災害歯科保健医療体制整備の現状

	団体の緊急対応体制の整備	団体機能のBCP策定	災害時対応の研修の定期実施	災害時派遣制度の整備
あり	35	13	24	23
なし	12	34	23	24

第29回災害歯科保健医療連絡協議会ワーキンググループ

アンケート「災害体制の現状と地域における連携体制の構築に向けて」, 47都道府県歯科医師会, 2021年10-11月

協定ほか

	行政	他歯科団体	他医療団体
あり	44	42	23
なし	3	5	24

合同研修

	行政	他歯科団体	他医療団体
あり	36	19	13
なし	11	28	34

第29回災害歯科保健医療連絡協議会ワーキンググループ

歯科保健医療支援 直後は？

直後 プッシュ型／外部支援	歯科災害対策本部実働後 プル型／地域主導
<ul style="list-style-type: none"> • 歯科衛生用品の手配と口腔ケアの啓発・・・保健師や薬剤師、防災担当者など、初動の方々にお願いする以外にはないのでは？ • 歯科のアセスメント開始・・・被災県内でも動けるチーム（大学歯学部など）、もしくは県外から派遣するチーム（隣県？カウンターパート県？） 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の歯科医療機関の回復の確認 • 誤嚥性肺炎や口腔機能低下のハイリスク群へのターゲットアプローチ（本来の災害救助法対象ではない？） • 地域での対応が可能なら地域を優先 • 休日歯科診療／僻地医療的意味合いに近い？

次にスムーズに動けるための準備でいい！

保健師・薬剤師・栄養士・防災担当者など、初動の方々にお願いしたいこと 歯科衛生用品の手配と口腔ケアの啓発

- 歯みがきを啓発するポスターを持参して掲示する
- 対応の折りに、口腔衛生を保つことも災害時の健康維持にはとても大きなことであることをお伝えする
- 要配慮者が口腔衛生を保てる物資や環境があるかどうかのチェック（歯ブラシなど、義歯清掃用品、洗面所、プライバシー、介助？）



- 問題があれば、歯科関係者への連絡（歯科関係者が手配するなどの、後方支援は可能）

【災害時の個別歯科保健医療調査】

急性期に歯科の必要性を判断するための3項目

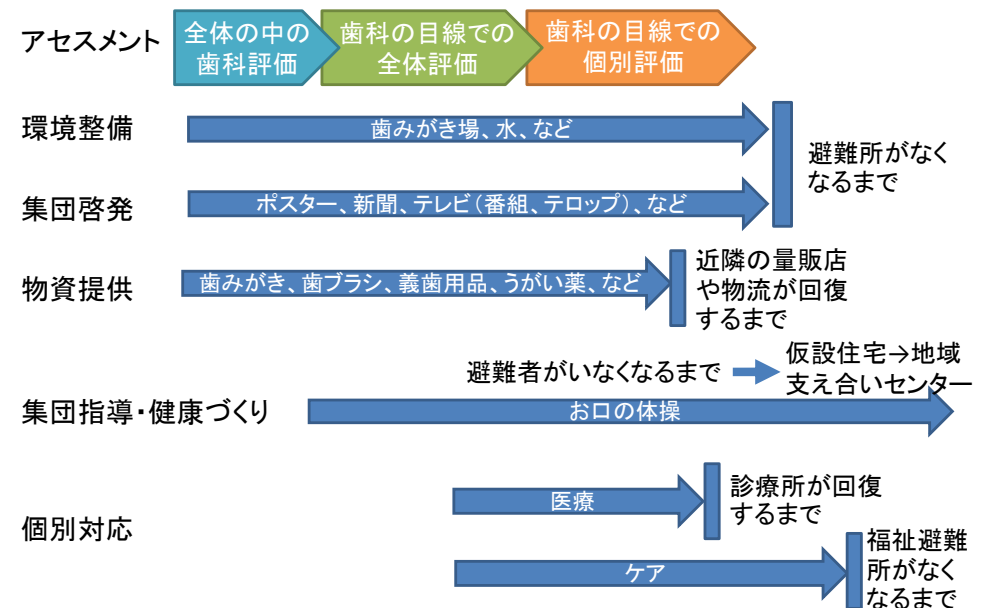
- 1) 食事が食べにくいと感じることがありますか？
- 2) 食べたり飲んだり、むせたり咳きこんだりすることがありますか？
- 3) 口が渇いたり、口内炎ができたりなど、口で気になることがありますか？

- * 1)が歯科（摂食）、2)が嚥下、3)が口腔粘膜など、の評価。
- * 回答は、「ある・なし」だとちょっと大雑把すぎるので、3択に。緊急性なども多少わかりそうだし、書きやすくなる。
- * 仮設住宅入居者は基本的には要介護状態ではなく、セルフケアは自立しているという前提としている。

もう3項目増やせるのなら

- 4) 歯ブラシや歯みがきなどは充足しているかどうか
- 5) 実際に災害前と同じように歯みがきなどできているかどうか
- 6) 歯科に通院するときに交通手段などでの問題はあるかどうか

災害時の口腔衛生管理？



災害対応

直接支援
被災者支援

支援者支援
間接支援

災害支援
緊急援助

×

地域支援
地域防災

体制・準備

長期的な支援を考えると・・・

- 地域支援体制
- 地域包括ケア
- 防災体制・災害時体制
- 受援時にどう支援してもらうのがベストか
- ならば支援時にはどうするのが相手のベストか



お近くの方々にも
お伝えください
配布等に
承諾は不

熊本地震で被災された皆さまへ
いつもの生活を
取りもどすための
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ
2016年4月28日発行
2016年5月12日更新
2016年5月18日更新

いつもの生活を
取りもどす！



いつもの生活を
続けられる
準備をしよう！

誰にでも
いつでも
健康で幸せに生活する
機会のある社会を

災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかにか普段通りをキープするのか



This screenshot shows the '歯8020テレビ' website interface. A yellow box highlights the text: '動画で一般向けに平易につくられています (それぞれ6分ほど) 過去に災害時に地元ケーブルTVで放映されたこともあります' (Videos are easy to understand for general audiences (each about 6 minutes). They have also been broadcast on local cable TV during past disasters). A blue box on the left contains the text: '災害時こそ大切！お口のケア <1>備えておくこと <2>自分でできること' (Disaster is when oral care is most important! 1. Prepare in advance 2. What you can do on your own). A pink box highlights the video '災害時こそ大切！お口のケア' (Disaster is when oral care is most important!). Below it, two download links are shown: '1) 備えておくこと (60.0MB)' and '2) 自分でできること (67.2MB)'. A pink arrow points from the yellow box to the highlighted video and download links.

This screenshot shows a document titled '大規模災害時の歯科的コーディネート' (Large-scale Disaster Oral Care Coordination). The subtitle is '~最も重要なことは?~' (What is the most important thing?). The document lists speakers: 田中 大輔 (Tanaka Daisuke), 田上 大輔 (Tanaka Daisuke), and 本田 秀人 (Honda Hidehito). Below the text, there is a flowchart titled '災害歯科支援体制 コーディネーター間の役割分担と連携' (Disaster Dental Support System: Roles and Cooperation between Coordinators). The flowchart shows the flow of information and coordination between various entities including the Japan Dental Association, local dental associations, and disaster relief organizations.

This block contains text about disaster dental coordination and the Nihon E-System. The top part says '大規模災害時の歯科的コーディネート' (Large-scale Disaster Oral Care Coordination). Below this, a yellow box contains the text: '日歯会員の方は無料で受講できるはずぜひ、スタッフとともに、ご視聴ください' (Nihon members should be able to attend for free. Please watch it together with staff). At the bottom, it says '日歯Eシステム 生涯研修ライブラリー' (Nihon E-System Lifetime Training Library).

災害時、私たちにできる

共通書式などは全てこちらに載っています
歯科医師もこちらからご確認ください



被災者の口腔保健と健康増進を支援します

避難生活では口腔清掃不良を要因とした様々な健康問題が生じます。いざという時にすぐ動けるよう、ボランティア登録の方法から準備までをご説明します。

Link 災害歯科保健歯科衛生士登録

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF 災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル2021

マスクをしたままできる
お口の体操

～ 唇や舌、頬やのどの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう ～

①唇をとがらせ唇に戻す
②左右にしっかりと引く
③大きく開ける
唇を閉じ、唇の内側で舌をくるくる回す

①頬をふくらます
②頬をへこます
③左右交互に頬をふくらます
④唇をしっかりと閉じ上下交互に舌をふくらます

間口訓練
①口を最大限に大きく開ける
②10秒間 保持する
③10秒間 やすむ
④②③を繰り返す

前舌保持嚥下訓練
(ペロ出しごっくん)
①舌を少し前に出し、唇を閉じる(舌を強く咬まないよう注意しましょう)
②そのまま、つばをゴックンと飲み込む

食前や空き時間に5回～10回行いましょう

マスクをしたままできるお口の体操(動画)



- 災害歯科保健
- 災害と支援の仕組み
 - 災害時の地域保健
 - 災害時の被災者の心理
 - 災害時の歯科の役割と支援/災害支援における歯科衛生士の役割
 - 災害時の歯科衛生士の活動の実例
 - 災害時の歯科口腔ケアの体系化/実例(地域)
 - 災害時の歯科口腔ケアの実際(個人)
 - 災害歯科保健活動における多職種との連携
 - 被災者の心身に配慮した歯科保健活動
 - 災害歯科保健活動における「食べる」支援

・歯科衛生士(学生向け) 2,970円
・日本歯科衛生士会 正会員 1,782円
・歯科医師 その他 4,455円

全て見て学んだDHは、
日衛に登録できます

歯科衛生士 2970円
日衛正会員 1782円
歯科医師その他 4455円

今日を愛する。
LION

製品情報 「今日を愛する。」レポート

災害時の清潔・健康ケア情報



災害時の清潔・健康ケア(印刷)

災害時の手の清潔、オーラルケアについてご案内し

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が入り出る避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。

災害時のオーラルケア

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯肉炎、感染症や誤嚥性肺炎などのリスクも高まります。

災害時の清潔・健康ケア(印刷)

災害時の手の清潔、オーラルケアについてご案内し

非常時持ち出し品チェックリスト

非常時に持ち出すべき品目と数量をリストアップし、準備状況を確認するためのツールです。

非常時のための **清潔・健康ケアBOOK**

災害時のための準備や、災害時の清潔と健康ケアに関する情報が満載のブックレットです。

災害時の備えや、災害時の清潔と健康ケア

災害時の準備や、災害時の清潔と健康ケアに関する情報が満載のブックレットです。

災害時に忘れてはならないのは

災害時に忘れてはならないのは、お口の健康です。お口の健康を維持することは、感染症の予防や、食生活の改善につながります。

災害時のための清潔

災害時のための清潔と健康ケアに関する情報が満載のブックレットです。

お口の健康

お口の健康を維持することは、感染症の予防や、食生活の改善につながります。

高齢者が特に注意を要する

高齢者が特に注意を要する事項は、お口の健康と、食生活の改善です。

小さな子ども

小さな子どもは、お口の健康を維持することが、感染症の予防や、食生活の改善につながります。

災害時のための清潔と健康ケアBOOK

災害時のための清潔と健康ケアに関する情報が満載のブックレットです。

方

覚えてください、防災にオーラルケア。

健康は、おうち、からだ。災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR

防

肺炎を防ぐために歯みがきを！

- お口が清潔でない細菌が増殖し、肺炎になりやすく、全身の病気の悪化につながります
- 高齢者は特に注意が必要です

入れ歯をきれいにして肺炎を防ぎましょう

- お口を清潔に保つには入れ歯のお手入れが大事です
- 食後に入れ歯をきれいにしましょう
- 夜寝るときは入れ歯をはずしましょう

ハブラシがないとき

- 食後に少量の水やお茶でうがいします
- ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果があります

だ液を出す工夫を

- だ液はお口の中をきれいに保つはたらきがあります
- 耳の下、ほお、あごの下を手でもんだり、あたためると、だ液が出やすくなります

水が少ないときの歯みがき

- 約30mlの水を用意
- 水でハブラシをゆわいて歯みがきします
- 含み間にハブラシの汚れをティッシュでふきとります
- コップの水を少しずつお口に含み、2〜3回にかけて、すすぎます
- 液体ハミガキ、洗口液があれば、水のかわりにお使いください(水のすすぎは不要)
- うがい薬もお口を清潔に保つのに効果的です

監修：神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 足立平先生
提供：一般財団法人 サンスター財団、サンスターグループ

SUNSTAR

Mouth & Body Topics VOL.3

健やかな口 健やかな身体

人々の健康を口から守る

～災害時の伝染性肺炎予防の事例から～

中久木 康一 歯学部教授 歯学部歯科 歯科部長

足立 了平 歯学部教授 歯学部歯科 歯科部長

防災にオーラルケア 善発活動紹介

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！

災害時のために、歯みがきや歯のケアは、命を守るための重要な手段です。

SUNSTAR

デンタルハイジーン 2018年1～4月 別刷り

「災害支援」って何だろう？ ～食べるを支えるために～

災害支援とは、被災者への食料や生活必需品の提供、心のケアなど、被災者の生活を支えるための活動です。

「災害支援」って何だろう？ ～食べるを支えるために～

災害支援とは、被災者への食料や生活必需品の提供、心のケアなど、被災者の生活を支えるための活動です。

災害支援のしくみと支援の担い手

災害支援のしくみと支援の担い手について、詳しく解説しています。

災害支援のしくみと支援の担い手

災害支援のしくみと支援の担い手について、詳しく解説しています。

災害支援のしくみと支援の担い手

災害支援のしくみと支援の担い手について、詳しく解説しています。

災害支援のしくみと支援の担い手

災害支援のしくみと支援の担い手について、詳しく解説しています。

災害支援のしくみと支援の担い手

災害支援のしくみと支援の担い手について、詳しく解説しています。

SUNSTAR



歯科の災害保健医療支援

お口の健康が命を救う!

大規模災害が起こったとき、現地で保健医療支援活動を行うのは、歯科の専門職だけではありません。歯科医療も、顔と口顔の面から被災者のかたたちの健康を支えています。一般にはあまり知られていない、歯科の災害時の保健医療支援活動について、日本歯科大学歯科医科協会の災害歯科コーディネーターを務める、中久木康一先生にお話を伺いました。

災害時の歯科診療
日本歯科大学歯科医科協会 災害歯科コーディネーター
中久木康一 先生

非常用持ち出し袋に入れておきたい オーラルケアグッズ

基本セット

- 歯ブラシ**
非常時に必要としている被災者は多く存在します。被災した被災者のために非常用持ち出し袋に入れておきましょう。
- 歯間ブラシ・フロス**
歯間ブラシは、歯の間の歯垢を除去する効果があります。非常時には歯間ブラシも持ち出し袋に入れておきましょう。
- 液体ハミガキ**
歯磨きペーストが乾燥して固まると、歯磨き効果が低下します。液体タイプの歯磨きペーストは、乾燥しにくいという特徴があります。
- 口腔ケア用のウェットティッシュ**
歯磨きができない状況でも、口腔ケアのためにウェットティッシュは非常に有効です。

持ち入れたいものから...
入れたいケースや日用品

入れたいケース
入れたい日用品

歯界展望

Vol.133 No.1 2019



口腔機能への視点

一う蝕・歯周病だけでなく、口腔機能に対応する歯科医療へ

小林俊太郎・木村成俊・榎本 真

生体防御の視点から捉える 義歯性疾患 ①

高島隆樹・中村裕史・石橋清美・小松淳司・中塚誠

加齢による姿勢変化が咬合へ与える影響 ~機能解剖学的考察~

阿部 洋一

災害時の経験を活かすためには

中久木康一・木村 裕・佐藤由理・佐藤 昂・田上大輔・大沼英人・岡崎剛一・鈴木 寛

【新連載】
エンド治療 Q&A 2019 / コーススクリーン再考 / 「初動費」を目指して治療の幅を広げる / 歯科における色彩分析・再現を再考する

医療界出版株式会社
http://www.rinsen.co.jp

特別企画

災害時の経験を活かすためには

東日本大震災 熊本地震 九州北部豪雨



被災地を支援する活動は、毎年より大きな役割を果たしています。2018年もまた、大規模な災害、平成30年7月豪雨（日本豪雨）など、大きな災害が相次ぎました。災害時の経験、またその中で得た知識やスキルを、被災地や被災者へ還元することは、被災地や被災者への支援に不可欠です。大規模な災害時の経験を、被災地や被災者へ還元することは、被災地や被災者への支援に不可欠です。

本誌では、東日本大震災や平成30年7月豪雨（日本豪雨）など、被災地や被災者への支援に不可欠な経験やスキルを、被災地や被災者へ還元するための取り組みを紹介しています。被災地や被災者への支援に不可欠な経験やスキルを、被災地や被災者へ還元するための取り組みを紹介しています。

被災地や被災者への支援に不可欠な経験やスキルを、被災地や被災者へ還元するための取り組みを紹介しています。

Introduction

被災してからでは遅い! 防災のポイント①・②・③!

1 防災の備蓄を考えよう!

2 避難をしよう!

3 被災こそ保健衛生士の出番!!

保健衛生士の役割

スタッフの安全を守る行動計画

災害発生時の対応

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか? それぞれの歯科医院では、地域で買えないように器具などを備蓄する、連絡網を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を備蓄しておく

災害発生時の状況

Special topic

DH Style 2020年12月~2021年3月号

被災したとき、何ができます

「準備しておけばよかった!」と後悔しない

「災害発生時に求められる対応」

「災害対策」と聞いて、何を思い浮かべますか? それぞれの歯科医院では、地域で買えないように器具などを備蓄する、連絡網を作る、帰宅経路や避難経路を確認しておく、水や食糧を備蓄しておく

災害発生時の状況

「被災したらいきなりコロナ! 落ちついてきたら今度は災害!」

「被災したらいきなりコロナ! 落ちついてきたら今度は災害!」

「被災したらいきなりコロナ! 落ちついてきたら今度は災害!」

デンタルハイジーン 2019年9月号 特集

あなたの歯科医院の「災害リスクスコア」分析結果

備蓄品の例

ケガを防止

口の衛生を確保

体温を確保

情報を確保

災害リスクスコア分析結果

備蓄品の例

ケガを防止

口の衛生を確保

体温を確保

情報を確保

DH Style 2020年12月~2021年3月号

Special topic

東日本大震災後の女川町における 歯科保健事業

女川町の震災後10年の歯科保健事業

東日本大震災から10年が過ぎようとしています。女川町は震災以上の死者・行方不明者も、多くの家が破壊される甚大な被害を蒙りました(図1)。私の歯科診療所も閉鎖となりました。10年経ちました。震災から10年経ちました。震災から10年経ちました。

東日本大震災から10年が過ぎようとしています。女川町は震災以上の死者・行方不明者も、多くの家が破壊される甚大な被害を蒙りました(図1)。私の歯科診療所も閉鎖となりました。10年経ちました。震災から10年経ちました。

東日本大震災から10年が過ぎようとしています。女川町は震災以上の死者・行方不明者も、多くの家が破壊される甚大な被害を蒙りました(図1)。私の歯科診療所も閉鎖となりました。10年経ちました。震災から10年経ちました。

医歯薬出版



砂書房



災害歯科保健医療
標準テキスト
2021年12月発刊！

2015年6月15日発刊
一世出版
2000円！



2016年7月10日発刊
クインテッセンス出版
1800円！

2018年2月1日発刊
医歯薬出版 7,200円



2021年12月24日発売！
一世出版
本体2,900円(税込み 3,190円)

Contents

はじめに	
第1章 災害歯科保健医療	
1. 災害歯科保健医療概論	12
2. 災害歯科診療チームの運用に向けて - 関係機関・団体における連携の重要性 -	20
3. 保健医療資源におけるロジスティクス救急隊の役割	28
4. 災害時における歯科医師会の対応	34
5. 災害時の歯科保健医療活動 - 目的、評価、修飾 -	40
第2章 国における災害対応	
1. 大規模災害時における政府の初動対応について	50
2. 災害時における保健医療の対応	54
3. 厚生労働省における災害医療体制	62
4. 防衛省・自衛隊における災害派遣活動	70
第3章 活動における連携・共有	
1. 災害時の歯科保健医療活動 - 歯科医師会における役割分担、多職種での連携 -	76
2. 日本医師会の災害対応	82
3. サイコロジカル・ファーストエイド - 心理的応急処置：PFA -	96
4. 歯科医師会のための災害復元法学のすすめ	104
第4章 災害時における復元確認	
1. 歯科における復元確認体制	114
2. 警察における大規模災害時等の多数傷者対応について - 歯科医師による身元特定の有効性 -	126
3. 海上保安庁における復元確認	128
参考文献	
・JDAT 目的、概要	133
・施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント書 (集団・派遣)	134
・歯科保健医療支援アクションカード	136
・Q&A 集	142
・用語/用語集	145

日本災害時公衆衛生歯科研究会

<http://jsdphd.umin.jp/>



歯科医師会・歯科衛生士会、行政・保健所勤務など、災害時の保健医療対応に関わる方々などなだても、登録お待ちしております！

日本災害時公衆衛生歯科研究会

Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (DPHD)

ポスター・パンフレット | 記録票・資料 | 研修教材 | 研修会記録 | 書籍・報告書 | **ML登録**

書籍・研究報告書など

研修会動画・配布資料など

研修動画・活動動画・研修準備資料など

アセスメント票・アクションカード・パンフ・ポスターなど

2015年6月15日発刊
一世出版
A3判 2000円

日本災害時公衆衛生歯科研究会
ML登録係
jsdphd-admin@umin.net

<http://eagerdental.jimdo.com/>

nakakuki@biglobe.jp

©女川温泉ゆぽっぽ